

海軍省 第六二號

海軍省 第六二號

大正五年八月二十三日

秋澤臺海軍總督府海軍參謀長

志佐海軍省經理局長殿



海軍用地交換ニ関スル件

經三第三一六號ノ御照會ノ趣ヲ承然ルニ建二三五號ハ官舎  
移轉料ニ貳千七百參拾円ヲ要シ亦々建一三八號ノ甲モ其半ハ  
取ルトスルモ建築物ニ對スル賠償ヲ仕拂ハサル可カラス基隆地價ハ  
別紙評價ノ如ク總計壹萬參千六百四十円餘ニ過キサレハ交換上  
不便ノ爲甚カラス當方ニ於テハ別圖赤色ノ如ク轉換ヲ得ルトシ

海軍省 第六二號

協議中ニ有之候亦々青色ノ所ハ官有ノ山地ナル故此小部分ニ限  
ラス事件確定ノ後軍事上ノ必要ヨリ今回ノ轉換地ニ沿フ山地ハ  
一切他ニ賣却シ閑墾スル等ノ事ナキ様照會シ保留シ置ク心組  
ニテ地方部ニハ既ニ内協議致候次第ニ有之候他日建ニ三五  
原ニ三五ノ一、原ニ三五ノ二、建ニ三四ノ一、及原ニ三五ノ四並ニ原  
ニ三五ノ三ノ甲ノ残部等製氷會社ニ至ル迄ノ地積ハ全部海軍ニ  
收得スル必要モ有ル者ト見込マカレ可カラス差當リ上記赤色ノ  
部ニテ満足スル方得策ナラズヤト思考致候更ニ御會議相  
成度亦々建ニ三八ノ甲ニ於ケル建物ハ之ヲ買取ル方移轉料ヨ  
リモ廉ニレテ廳舎ハ既ニ朽癭致居リ候ハ官舎ニテ差當  
リ何等カノ用ニモ立ツ可クト被存候亦々此等廳舎ハ當方ニテ

0311

入用ノ節迄總督府ヲ使用ヲ許シ置クノト致度且ツ交渉  
確定上ハ民政部ニ於テモ種々ノ都合モアリ名義上ノ保管轉  
換迄ニ多少ノ時日ヲ要ス可ク御承諾ヲ得度シトノコト有之  
候

右田答ヲ兼テ照會ス

別紙背面面共參葉添

(終)

大正四年十二月十七日

臺北廳長 加福豊次

海軍幕僚參謀長 殿

臺北廳々第三二一六號ノ一

土地評價ニ関スル件

豫テ御依頼相成矣基隆街ニ於ケル貴管地ニ對シ相審經驗ヲ有スル者ヲシテ評價セシメ候處其結果別記ノ通りニ有之候條御了知相

成度

右回答ス

甲 乙 丙

一坪當り價格調

所在地及甲数

評價額並氏名

平均須藤潔石坂莊作明比賣平

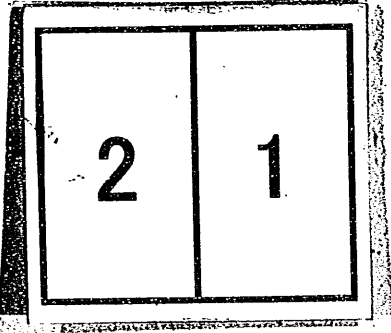
全 甲数九厘九毛九糸	全 上地番一三七全 甲数二分八厘二糸	全 去石三以博地番一四糸 甲数九厘六毛八糸	一三五リリ	一三一七	一四リリ	一五リリ	一八五リリ
			八三三三	七リリ	一五リリ	一五リリ	八五リリ

備考

甲 三百八坪七才  
乙 六百十坪  
丙 二百八十四坪一才

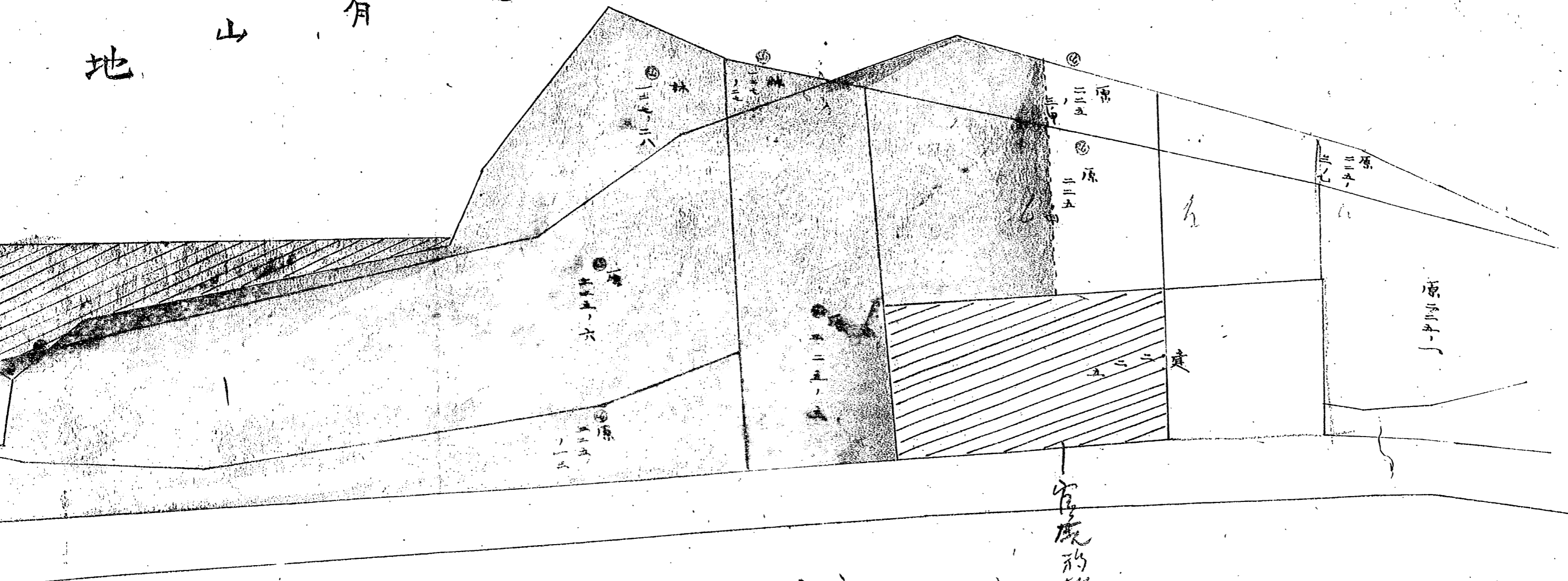
甲数 九厘九毛九糸 三八五〇、八七五  
乙数 二分八厘二糸 七四二、八七  
丙数 九厘六毛八糸 二二七、四八八

# 分割撮影ターゲット

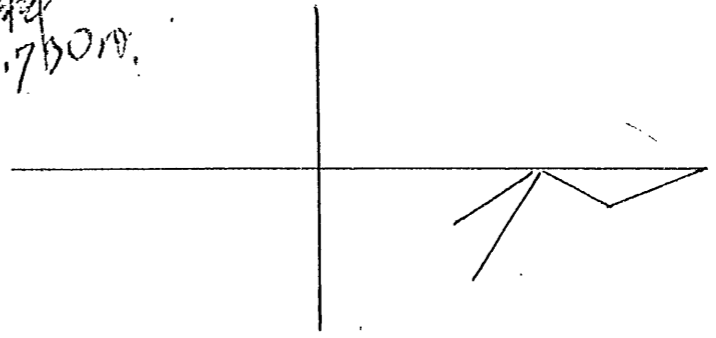
<p>分割した 部分の 撮影順序</p>	
<p>分割撮影 した理由</p>	<p>A 3 判 以 上 の た め</p>
<p>上記のとおり分割撮影した事を証明する。</p>	

大竹里

官有山地



官有  
地  
積  
料  
2,750.00



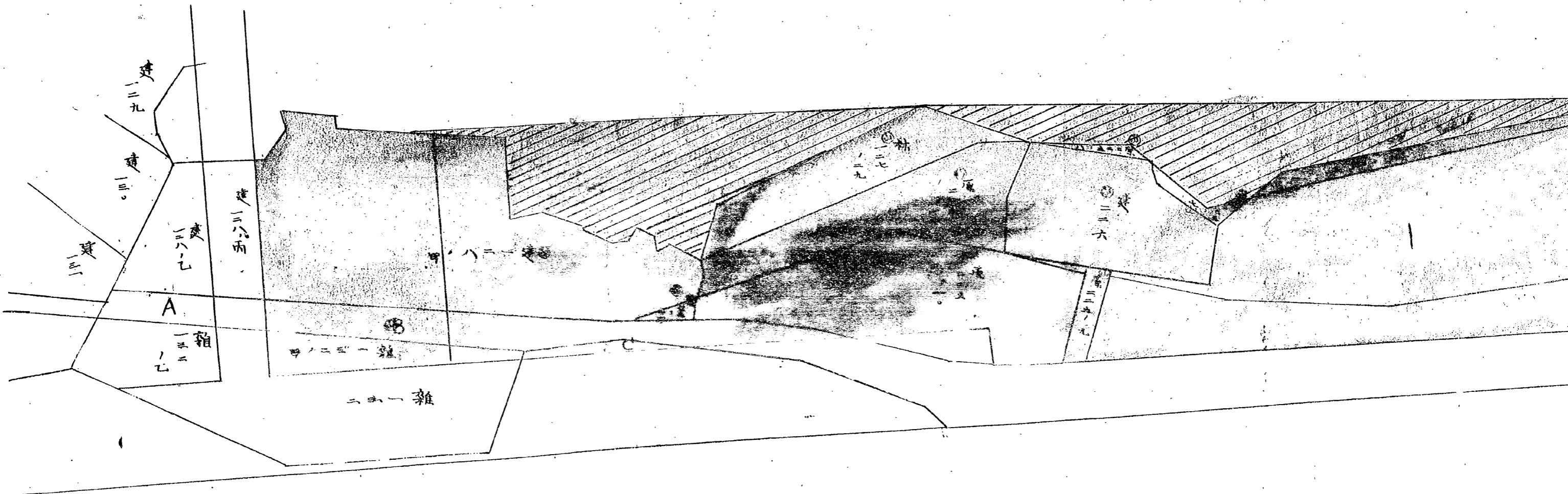
0315  
0316

0315  
0316

大竹里打狗名哨岨頭

六百五十一

有山地





軍務局長 (小)

第課長 (海)

(海)

(海)

軍

陸軍局長

(勝)

第三部長

(海)

(海)

(海)

大正五年八月拾日

陸軍局長

陸軍總督府 陸軍局長

用地交換之案ニ関スル件

七月十日付公海第三七號ニ五通報、  
本件是陸海軍用地、代地トシテ  
賜与スル地、大津別當、陸軍  
ノ部分ニ代スル地、部分ニ以テ  
賜与スル地、施設上運益多ク可ク被  
存候條、其ノ可ク在テ取計、現成、慶  
在申候云

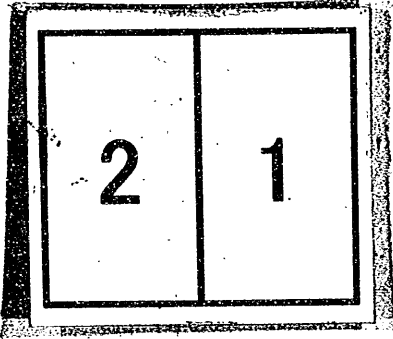
陸軍第三一六號

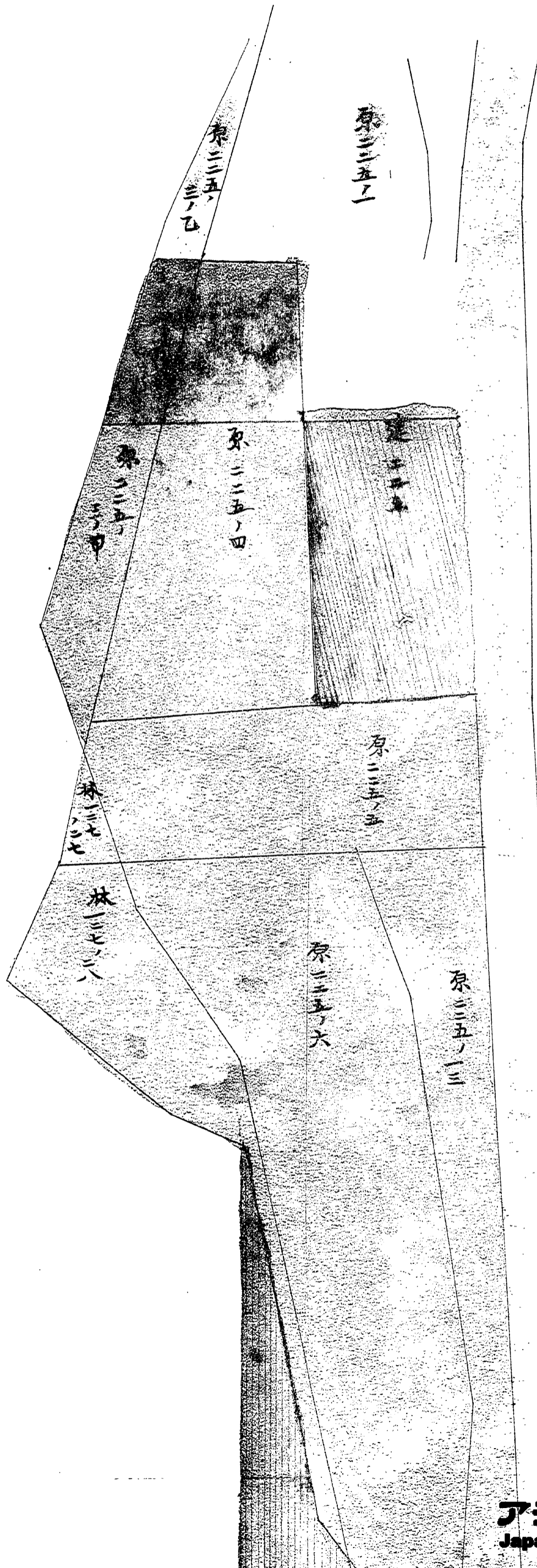
別

(四)

0317

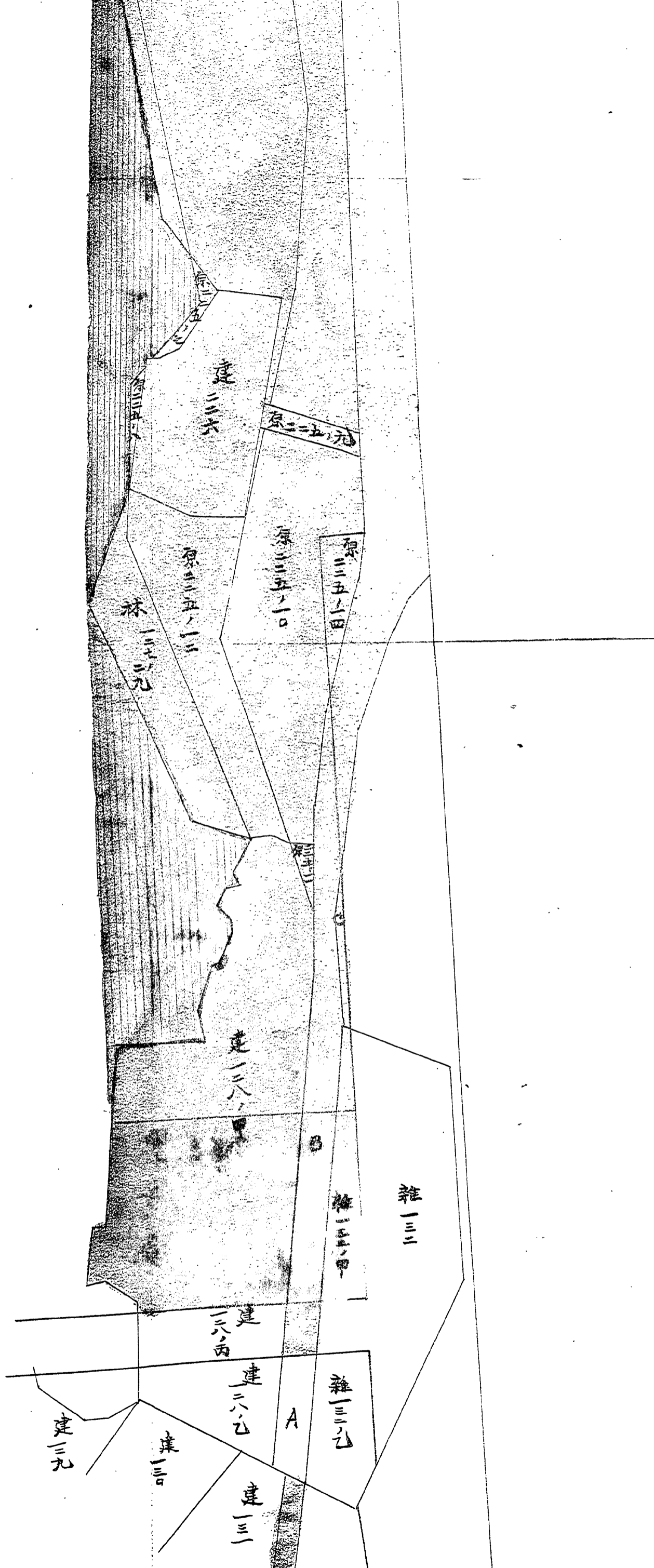
# 分割撮影ターゲット

<p>分割した 部分の 撮影順序</p>	
<p>分割撮影 した理由</p>	<p>A 3 判 以 上 の た め</p>
<p>上記のとおり分割撮影した事を証明する。</p>	

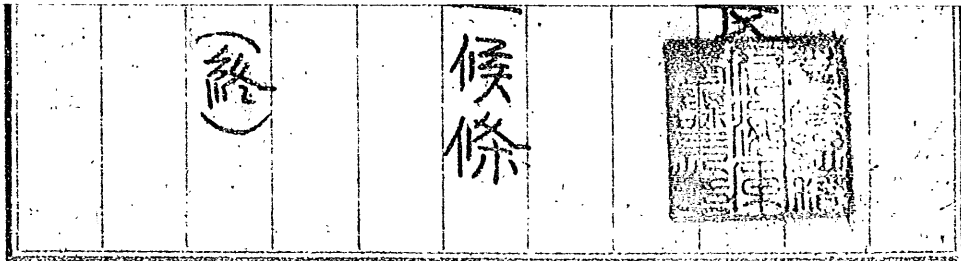


大竹里打狗土名崎船頭

六百分一



代官地  
ノ  
交換地  
ノ  
地



0320

0321

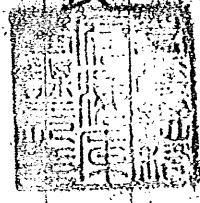
軍



海軍 第三七 〇一九

大正五年七月二十八日

秋澤軍艦總督府海軍參謀長



志佐海軍省經理局長殿

別紙、如ク本府民政長官ノ照會致置候條

右通報ス

別紙其葉添付

三三



終

同前ノ分一ノ同ノ書書付也

第三七 〇一九

海軍



0320 0321

寫

大正五年七月二十八日

臺灣總督府海軍參謀長

臺灣總督府民政長官宛

馬公水道廣代償地ニ関スル件

本件ニ関シ曩ニ大正四年十月廿海第三七號ノハツ以テ御

照會致置テ左記ノ地目ニ於テ價格ニ相當スル

丈ヶ海軍ニ轉管シ得ル様御取計ヲ得度

右照會ス

左記

原二二五ノ〇、林一三七ノ二九、原二二五ノ八

0322





寫

大正五年七月二十八日

臺灣總督府海軍參謀長

臺灣總督府民政長官宛

用地交換ニ関スル件

馬公道賣代價地ニ関シ本日陸海軍 號ヲ以テ及御照

會候處右決定ノ上ハ更ニ左記記載ノ基隆ニ於ケル海軍用

地ヲ民政部ニ提供シ其代價トシテ今圃保官轉換ス可キ打狗

用地ノ兩側ニ於テ双方代價ノ相當スル止ノ地積ヲ海軍ニ收得

ス様致度

右照會目ス

軍

軍

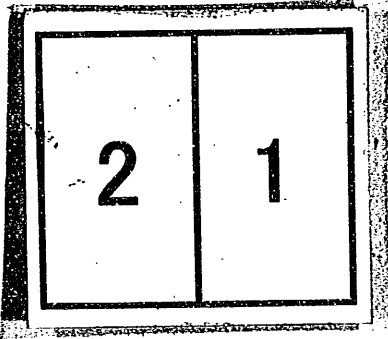
0324

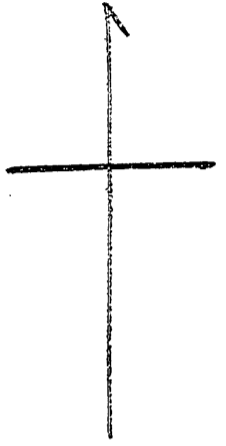
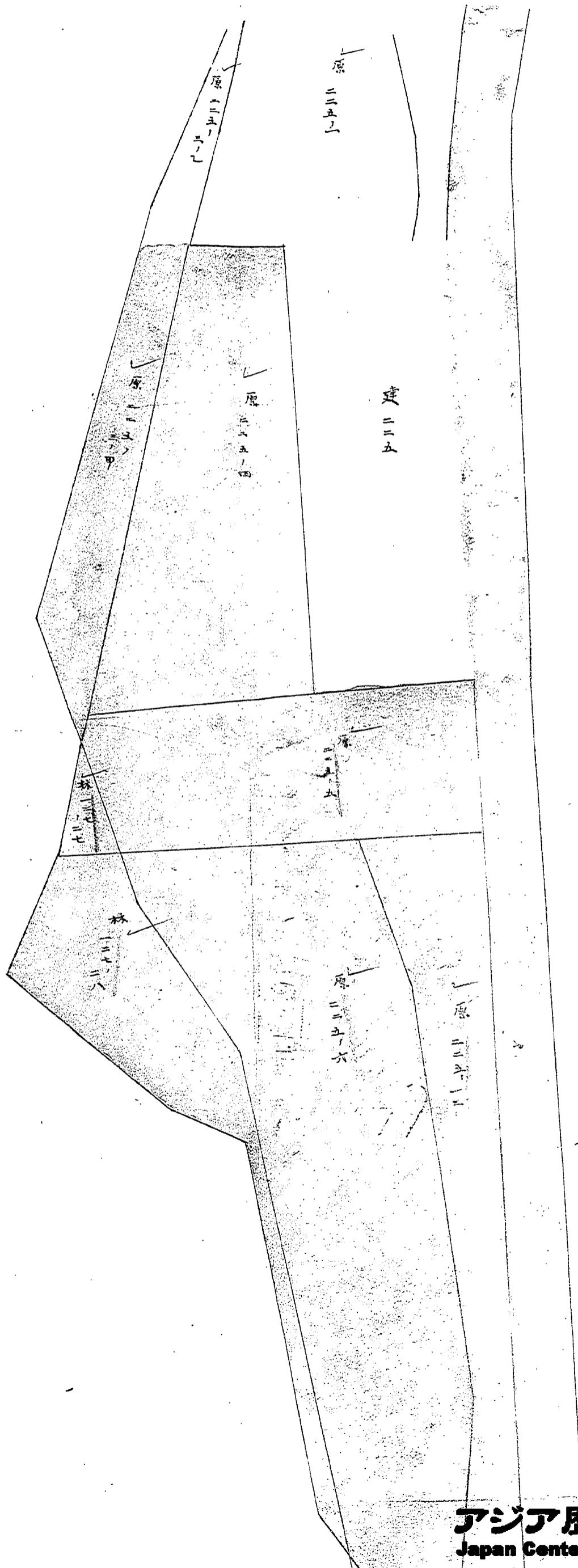
	海軍ヲ提供ス可キ分	左記
	一基隆街土名内形頭地番三三	一海軍轉管ス可キ分
	建物敷地	一打狗土名内形頭
	甲敷九厘九毫九絲	建 一三八ノ甲
	二今上地番一三七令	雜 一三二ノ甲
	甲敷二分〇厘八毫二絲	C
	三今土名三枚橋ノ地番一四令	原 二二五ノ二一
	甲敷九厘六毫八絲	原 二二五ノ三ノ甲
		原 二二五ノ四
		原 二二五ノ三ノ乙
		原 二二五ノ一

(終)

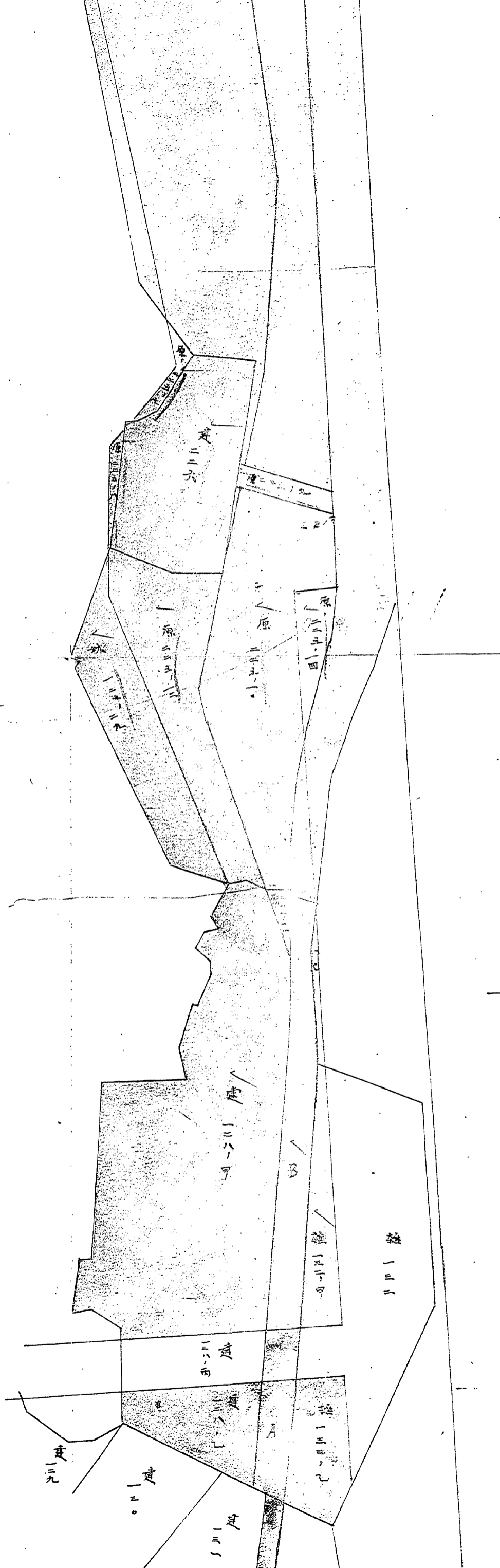
0325

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	



六百一  
六百里六狗土名哨船頭



起案郵紙

大正七年九月九日起案

起案者 捺印

九月廿六日發付

發付掛 捺印



發付後起 案者捺印



主務 經理局長 勝

第三課長

大臣

副官

次官



參事官



軍務局長



第一課長

局員



大正七年九月二十六日

陸信大臣

土地管理課

官房第三四五号眼會作之長内務大臣

號番

官房第三二二號

軍令	水路	臨建	教育	造兵	技本	法務	經理	醫務	機關	艦政	人事	軍務	官房	局部
													官房受	九月廿六日
														發付掛
														發付掛
														發付掛

經理局發

7.9.20

0322

346-5

7/10

之地

北津署及照會置保本件對今般別紙  
澤田各存立候條案地引渡方舉鶴鎮守存  
一及訓令置保

右申渡下  
房第三一號六

大正七年九月二十六日  
大 臣

舉鶴司令長官

土地管理課ノ件

別紙管第三四五号照會本件對置存  
本旨及田各置保條案地引渡方取討ノ一  
右訓令ス



袋田納

0329



内務省處理第二號

大正七年九月十八日

水野内務大臣

加藤海軍大臣殿

由 逓信大臣殿

土地管理換ノ件回答

九月七日營業第三三四五號、官房第三二二一號ノ三照會  
標記ノ件ハ其ノ本ノ新潟縣ノ通牒セシメ候

是テ實地ハ両方有同ニ於テ直接授受相成度候

官房第三二二一號

海軍

(明正印刷)

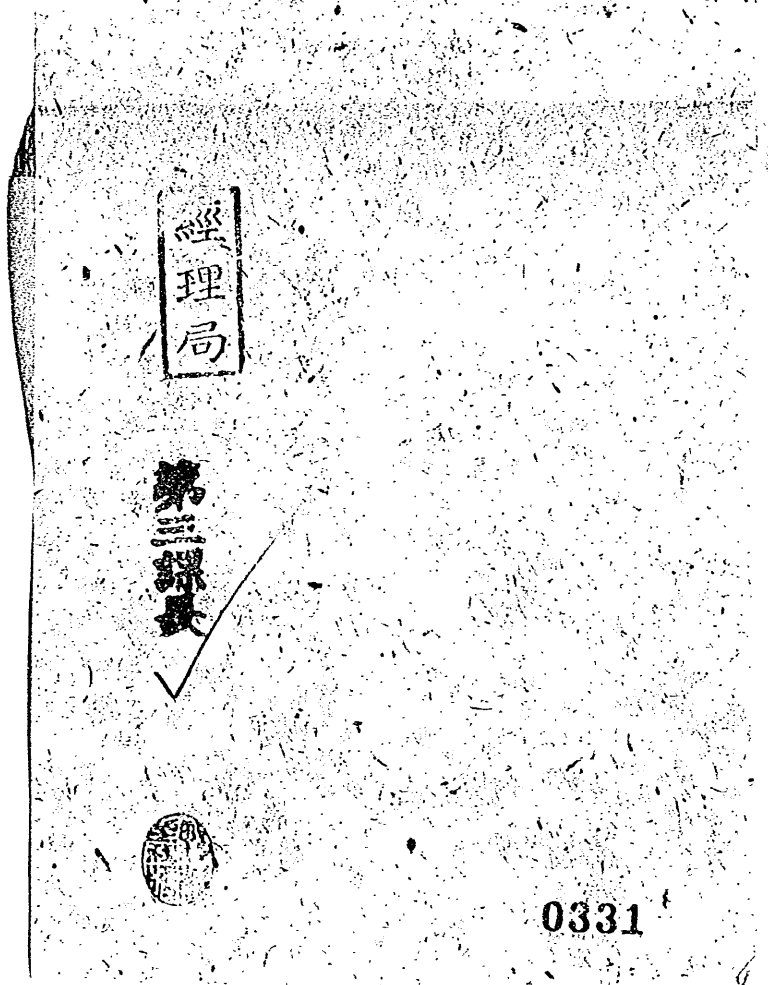
0330



(明正印刷)

照會  
度候

0330



0331

紙 郵 案 起

大正七年九月二日起案  
 起案者 捺印  
 九月十四日發付  
 發付掛 捺印  
 發付後起 捺印  
 案者捺印

事務(經理)局長 勝 第三課長

大臣 副官 淵

次官 木 參事官

事務局長 第一課長 局員

司令部長

次長 第一班

大正七年九月十四日

土地管理課

賞金三三四五号照會、本件異存與否

號番 官房第三二二號

軍令	水路	臨建	教育	造兵	技木	法務	經理	醫務	機關	人事	軍務	官房	局、部
九											九	九	發付後起
九											九	九	發付後起
													發付後起

經理局接受

346-4

0332

7.9.11

侯爵内務大臣宛連署白紙會書・大正印

ノ上及送致置原

右田舎小



袋田初

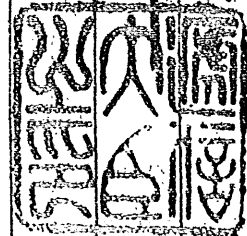
0333

八月廿四日  
官局

五月三二四五福田公 大正七年九月七日

逓信大臣野村胡堂

海軍大臣加藤友三郎



逓信局換

經理局

事務局

貴方所管豫備地は、左記土地にありし  
中、貴方所管豫備地は、左記土地にありし  
長、貴方所管豫備地は、左記土地にありし  
議、貴方所管豫備地は、左記土地にありし  
内、貴方所管豫備地は、左記土地にありし  
方、貴方所管豫備地は、左記土地にありし

官署  
事務局  
逓信局

346-3

0334

7. 9. 10

二 於之施り、けおまありしか  
之より、少運まし、少稔る、少

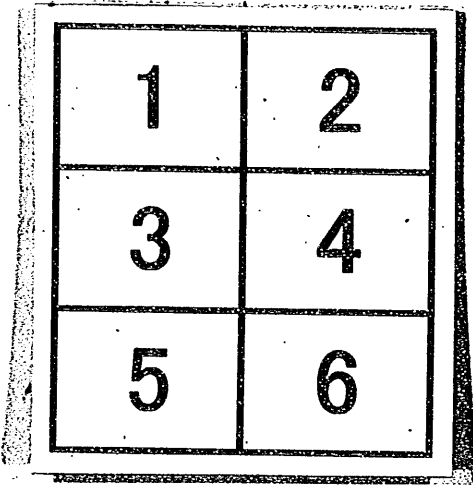
記

佐渡山佐渡野内海村大ゆ、龍る、埜  
ゆ、埜、埜

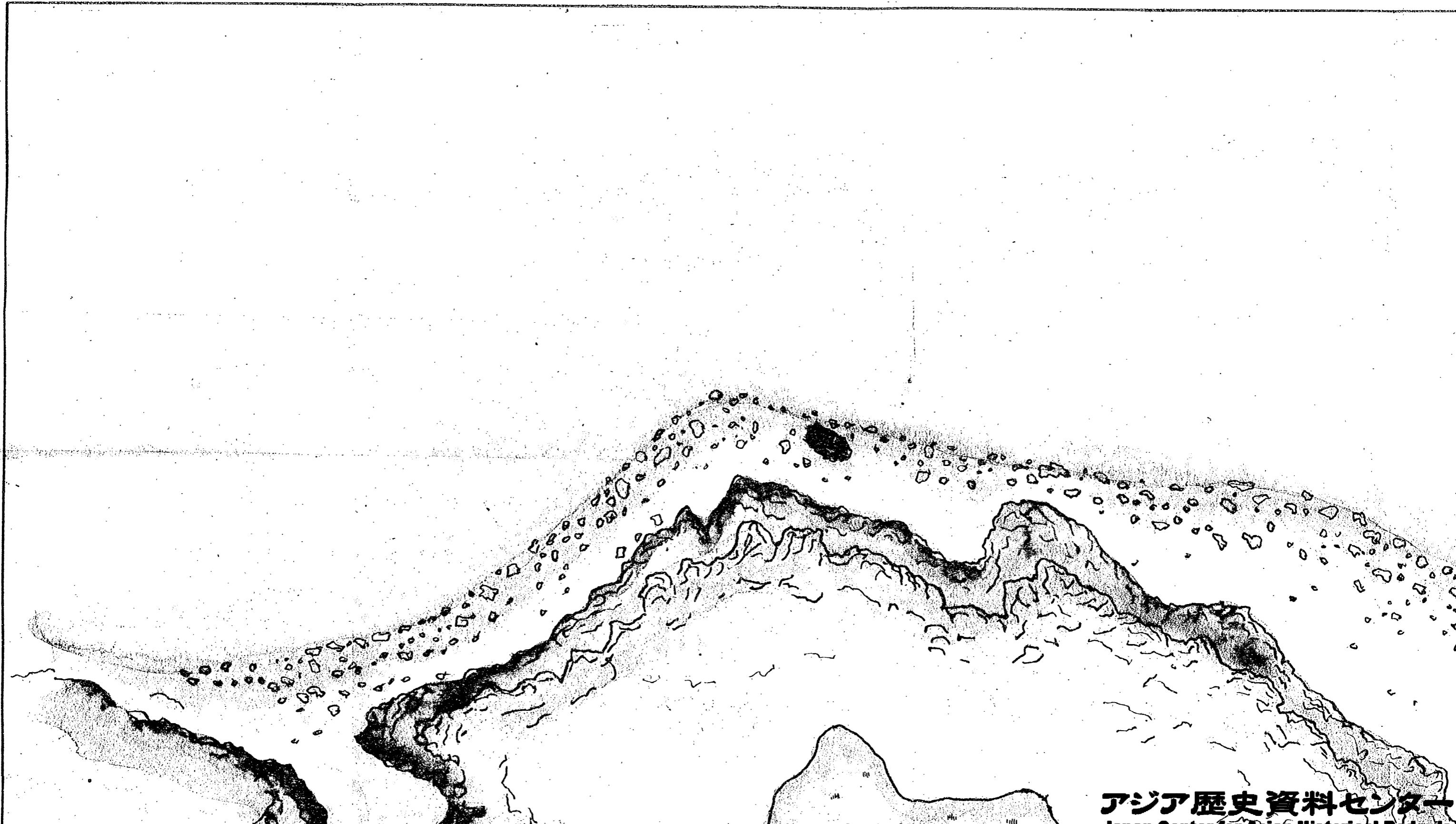
一 海軍者用地、壹千五百五拾六、埜六七

ふ、成、回、前、通

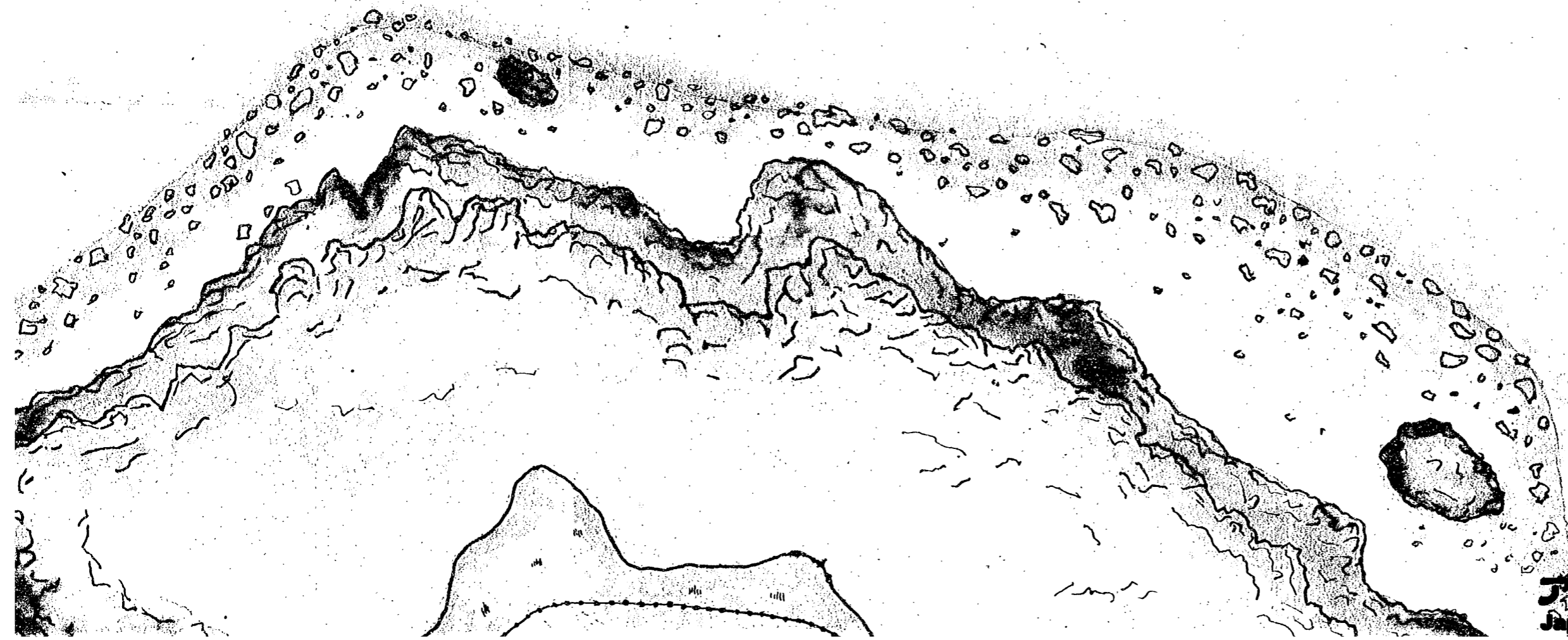
# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0336  
0337  
0338  
0339  
0340  
0341



彈塔燈臺座設置位置測且



アジア歴史資料センター

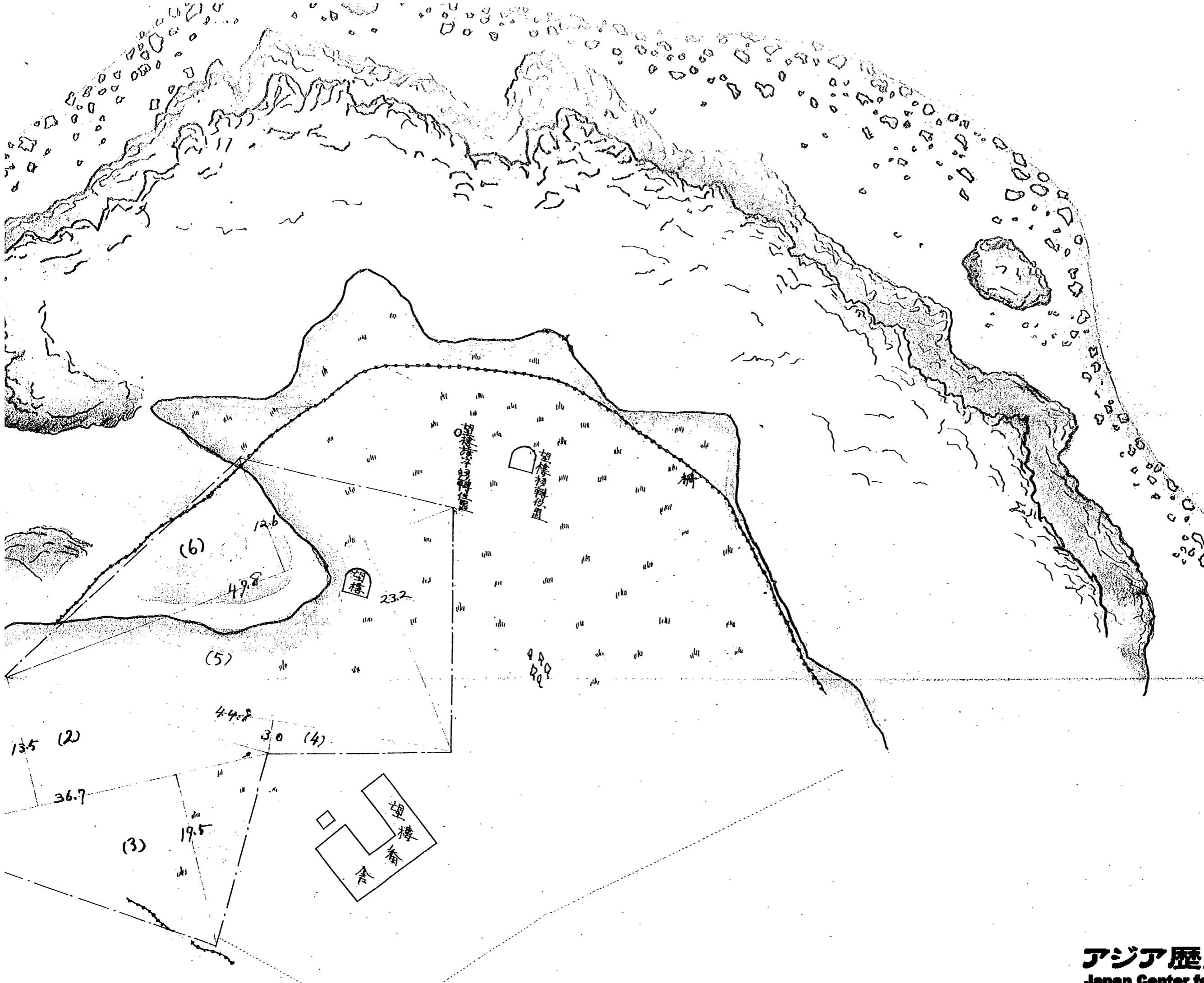
Japan Center for Asian Historical Records

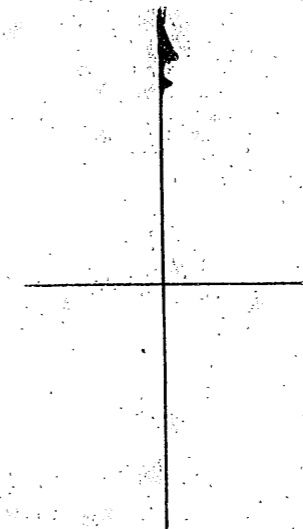
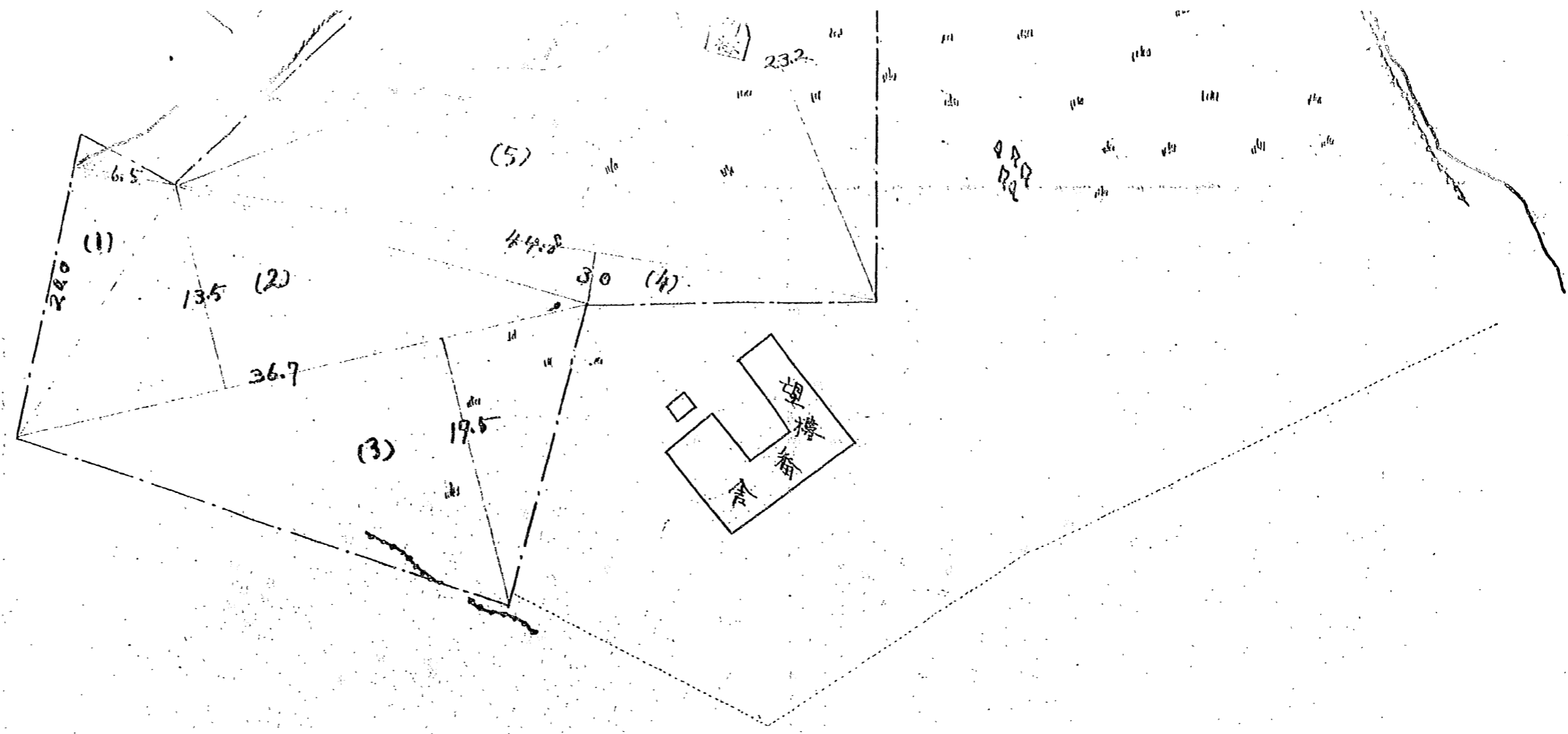
<http://www.jacar.go.jp/>



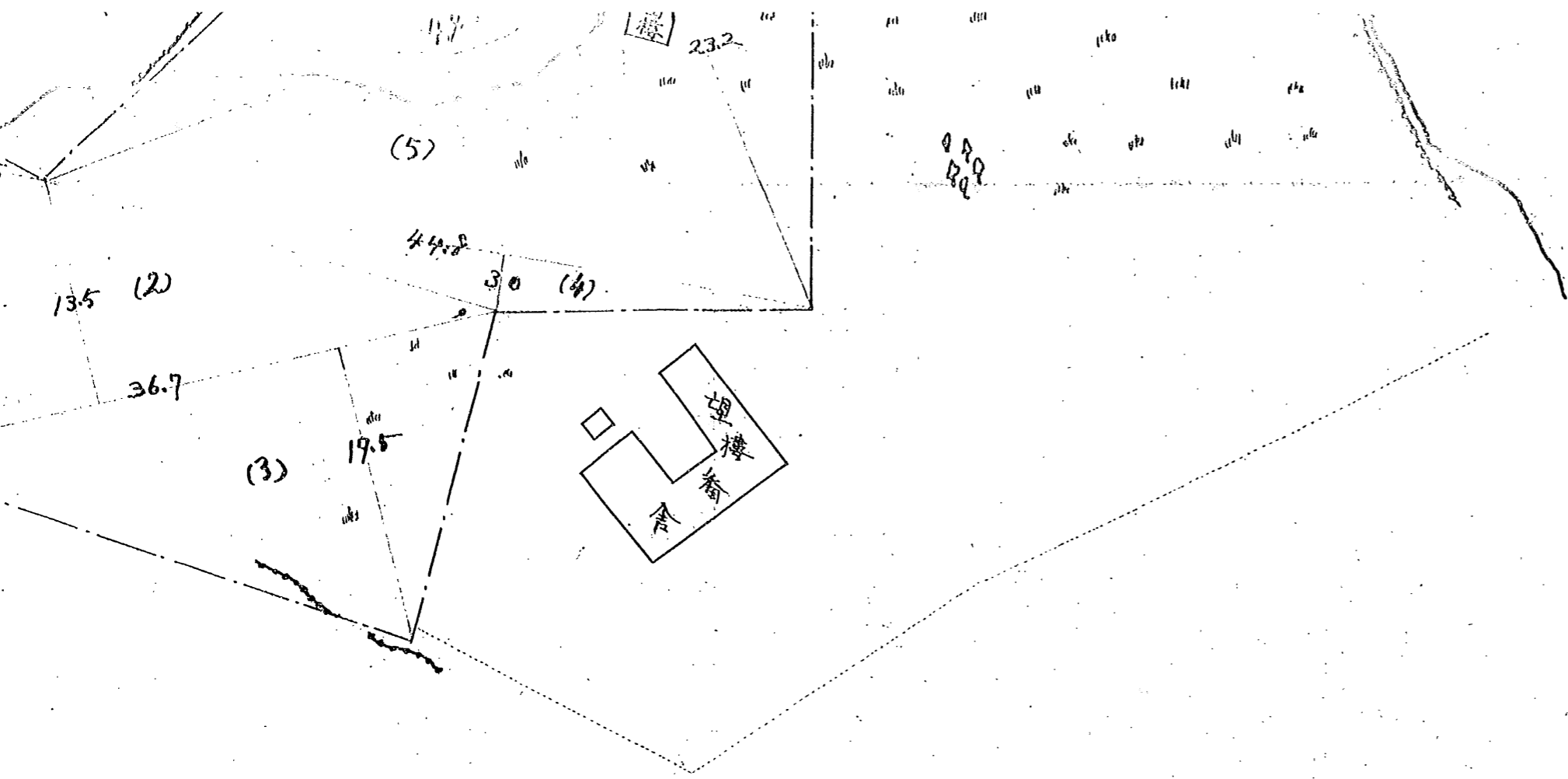


# 大坂位置測量圖





1  
600



1	$20.0 \times 6.5 = 130.00$
2	$36.7 \times 13.5 = 495.45$
3	$36.7 \times 17.5 = 642.25$
4	$44.8 \times 3.0 = 134.40$
5	$47.8 \times 23.2 = 1108.96$
6	$47.8 \times 12.6 = 602.28$
$3113.34 + 2 = 1556.67 \text{ ㊦}$	

5反1畝2.6步

寫

航二第八一三号 照會 大正六年六月廿五日

航路標識管理所

部長

舞鶴海軍經理部長 啟

望樓用地管理換件

佐渡石佐渡郡四海府村大字就島坊字彈坊へ後年度於  
テ燈台建設ノ見込ニ有之甚敷地トシテ前代同面ノ選定  
致矣其西著色ノ部今ハ貴所管望樓用地ニ屬スル  
ニ付テハ之ヲ通信省ノ管理換件受度矣余右御旨受テ  
有無御回答初メ也

追テ決選定區域ニ於テ望樓用地ト民有地ト境界ハ  
何等ノ標示ナク判然不致矣ニ付後ニモ之能ク於テ  
建設セシムル柵ヲ以テ境界ト定ム一甚正確ノ境界

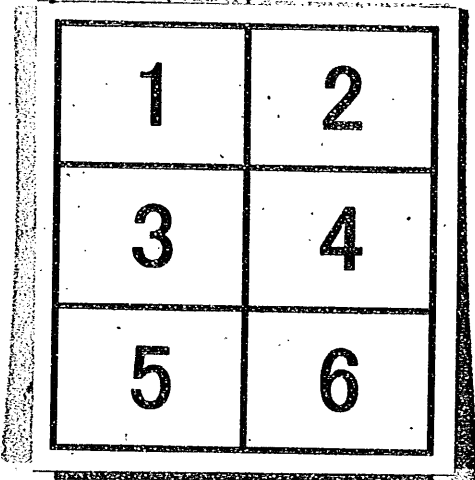
0342

録換圖面へ記入し以て四角炊爨及別々右境界確定  
 一上より算出可及通知矣尚又換形より以て五様及官  
 舎ハ御不用處し実ハ此全様御引継ぎ得處若し移管  
 差又有之於テハ該燈台建設工事中使用致し  
 併し御回系相成度尤右工事ハ未だ實施ノ年度費  
 確定不致矣一昔昔時期ニ至リハ場人々於テ使用ス  
 此儀ト仰リ知相成候一

高田屋長次郎

0343

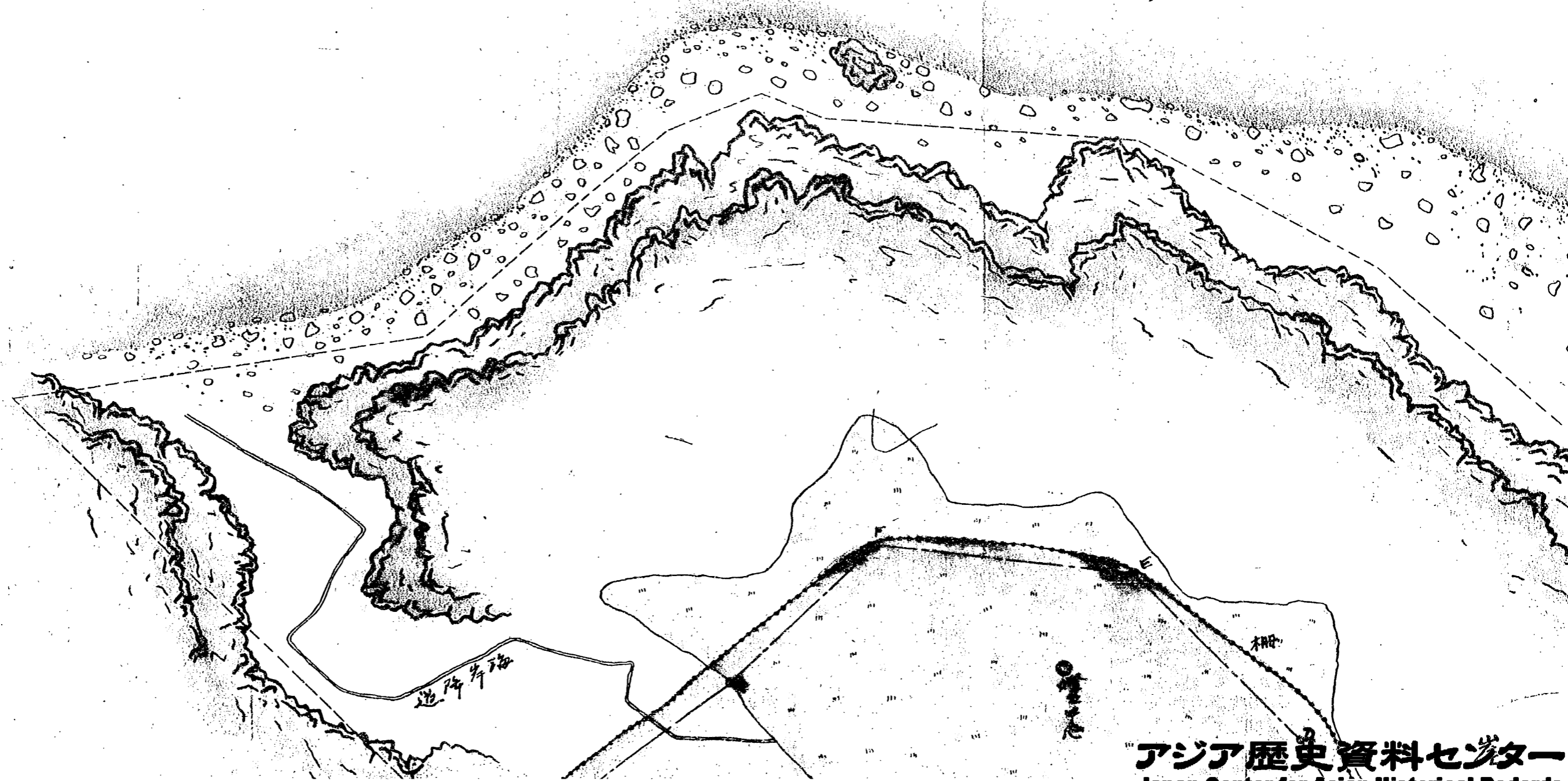
# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3判以上のため
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0344  
0345  
0346  
0347  
0348  
0349

# 彈崎燈臺基址位置測量圖

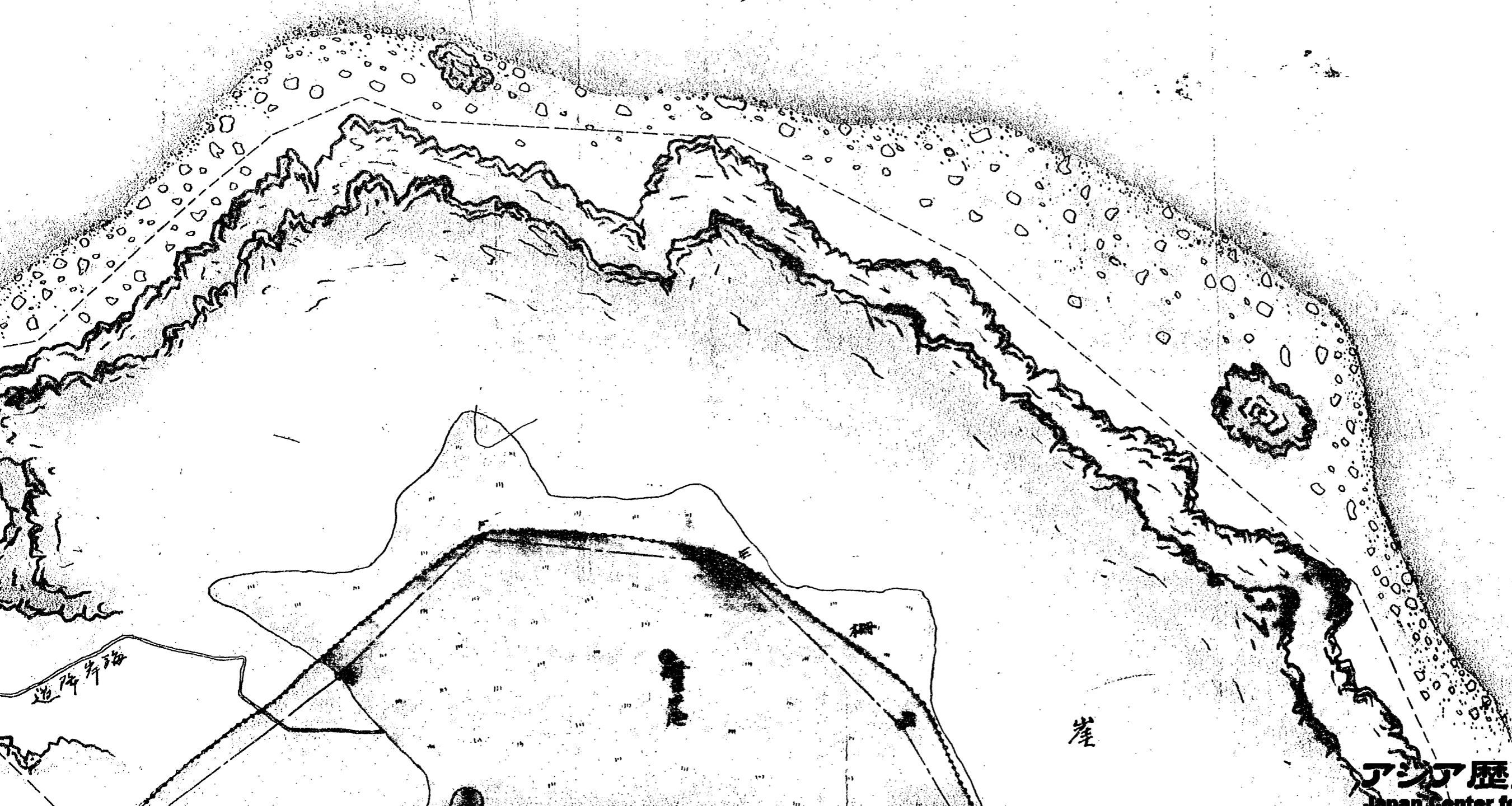
昭和二十一年一月二日

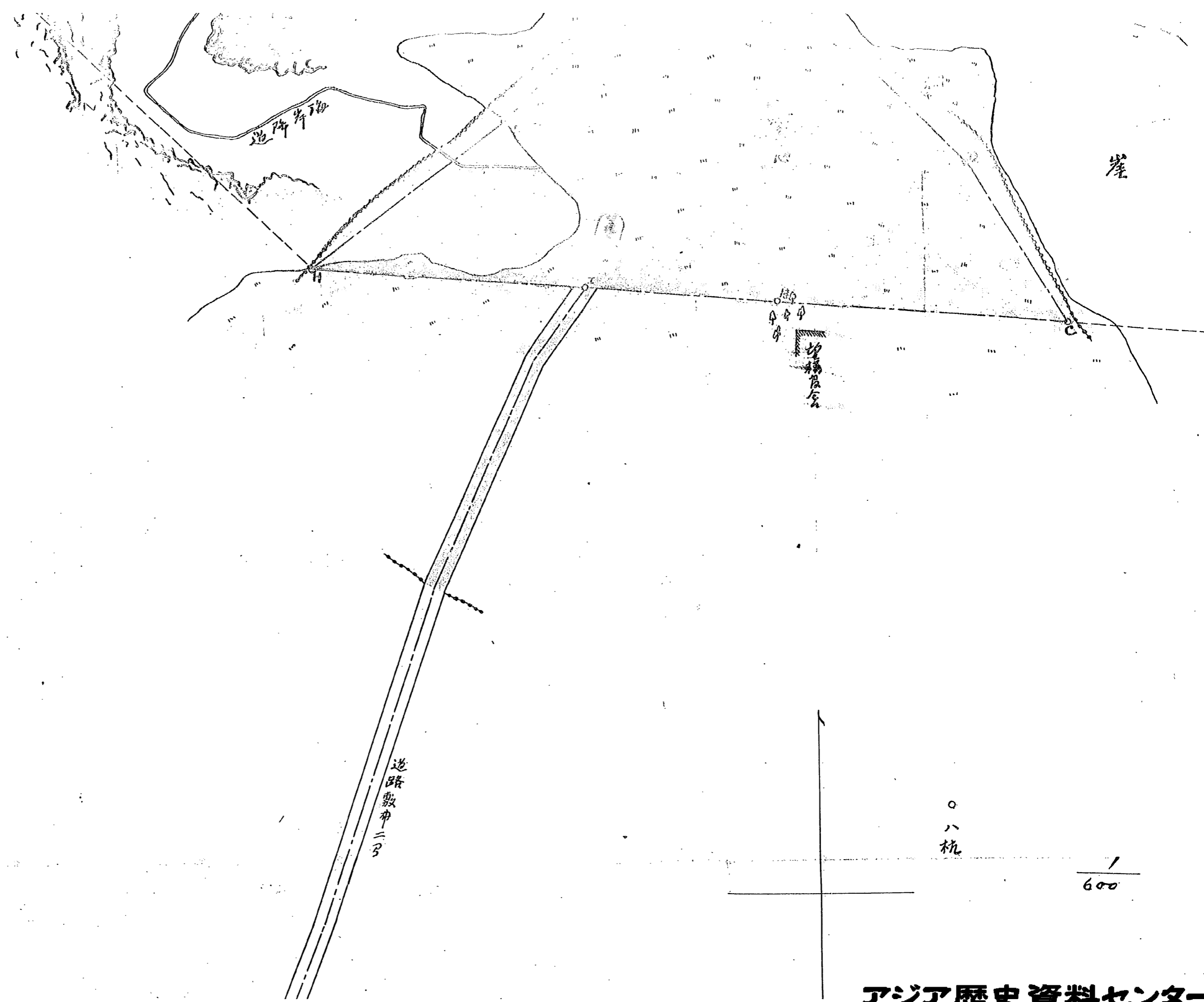


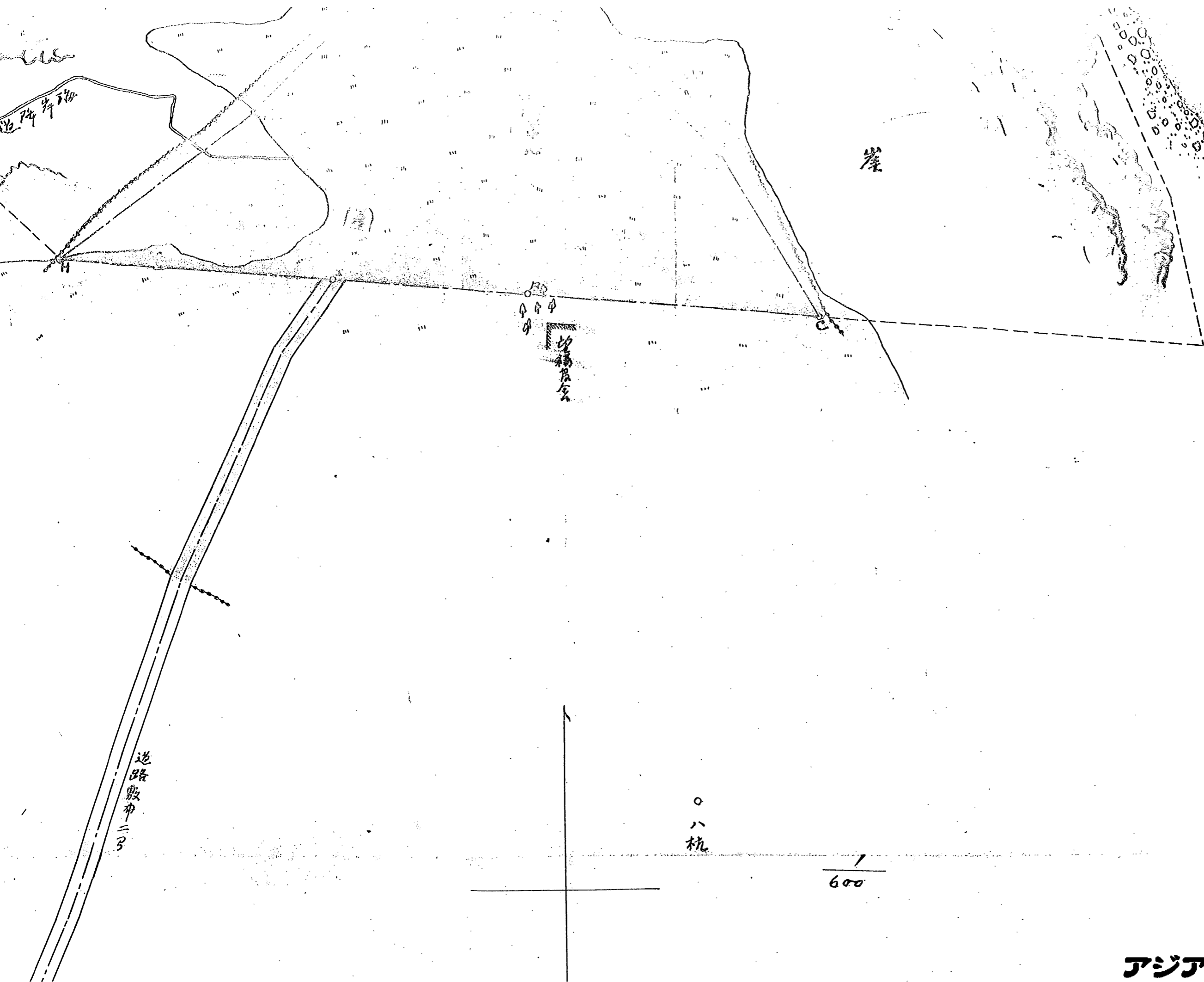


# 彈堦燈基建設位置測量圖

圖紙號二一八一ノ二







池降

崖

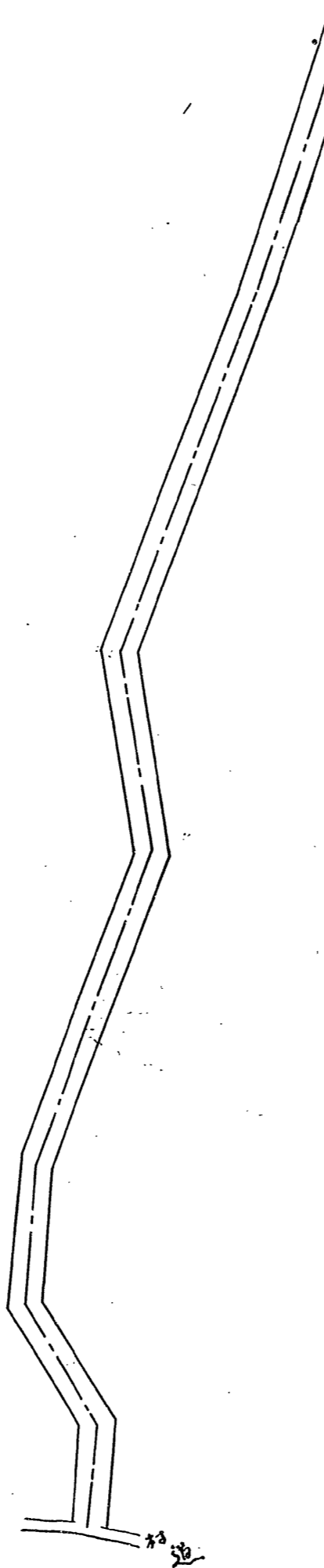
切橋

道路敷布ニ号

〇  
八  
杭

600

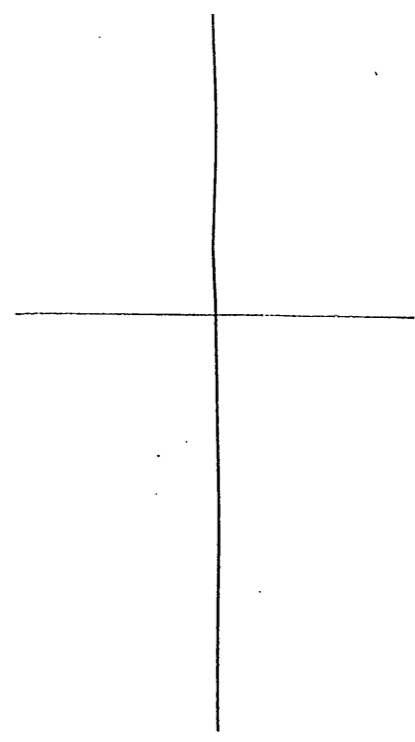
道路敷布ニテ



道路

〇  
八  
杭

1  
600



1812

道路敷布ニヨ

○  
八  
杭

$\frac{1}{600}$

寫

舞鶴運機密力四号三

大正六年七月四日

山崎舞鶴海軍經理部長

吉右衛門路原海軍經理部長殿

望樓用地管理換件

般之力一八二号即與有、修設此修設部也海軍省大  
 字就島崎字彈崎海軍望樓用地中現望樓建物位置  
 ハ戦時海軍ニ於テ必要ニ付即来意、難應去以外  
 土地ニシテ望樓視界(北七十五度西三十三度東三十三度南三十三度東三十三度)ノ層致シ  
 應ニ敬テ建設セラル、於テハ支障ノ有クトナリ  
 右田舎久

區ノ現望樓建物ハ戦時海軍ニ於テ使用スル

航路標識管理所

0350



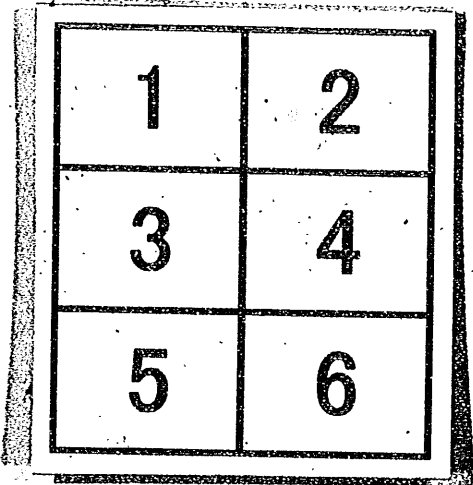




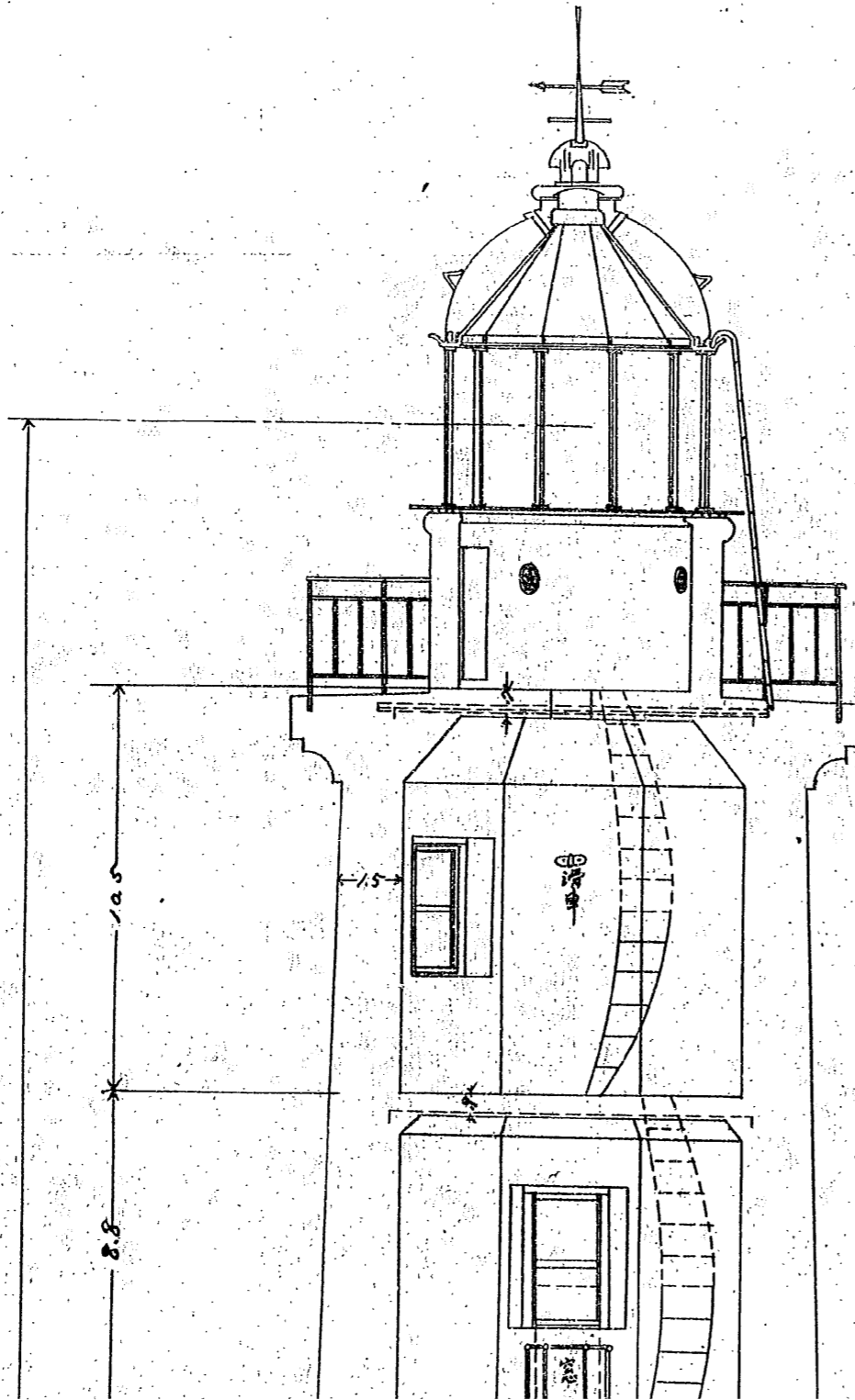
甲(又丙)の可布之尤新時事之際之必要に場合ハ  
 燈台建物ノ使用其他ノ方法ヲ以テ屢々試上ノ即便宜ク同  
 ルコトハ為ス又喜々トシテ左右ニテ片端に換方計ヲ用意  
 別紙圖面三葉相添へ置不テ又照会  
 追テ本台用地之選定セシ区域ハ官民有地之跨リ民  
 地ハ官附ノ事ニ相成居矣一吾境界判然セシメ共  
 手續ヲ進メ難クシテ右民有地ノ收用善ニ片端に換  
 上面積ノ算定ニ為ス又以テ正確ノ境界線ヲ圖中ニ  
 記入シ回付炊送

計画ノ区域圖ハ無経建力ニシテ之ハ  
 計画

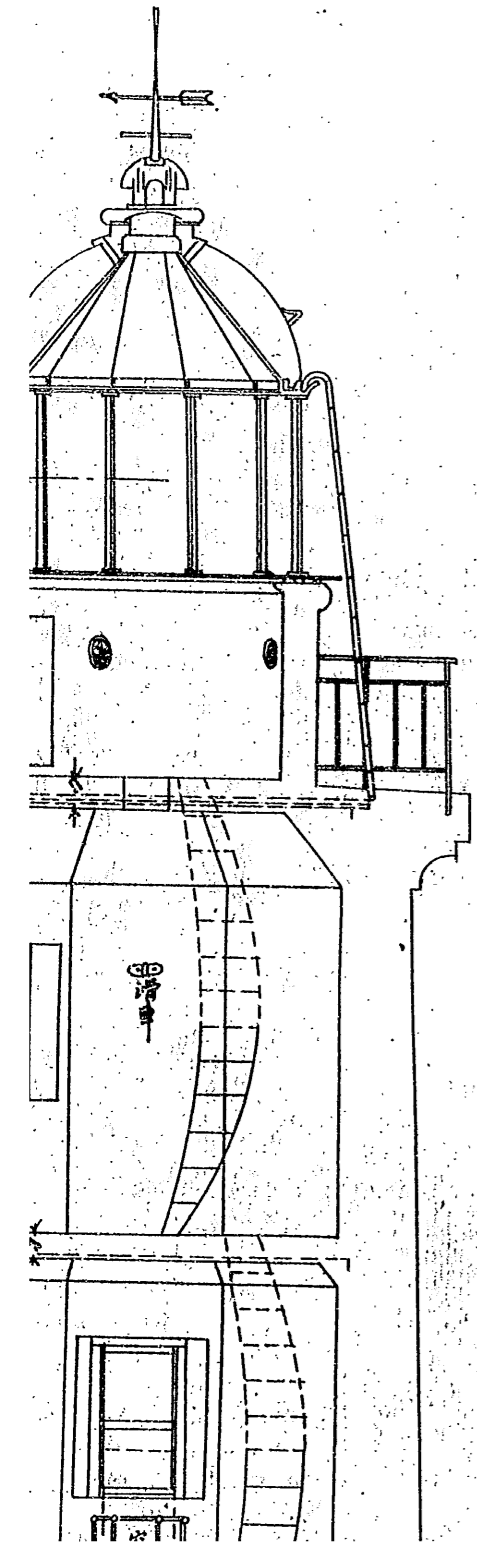
# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0354  
0355  
0356  
0357  
0358  
0359

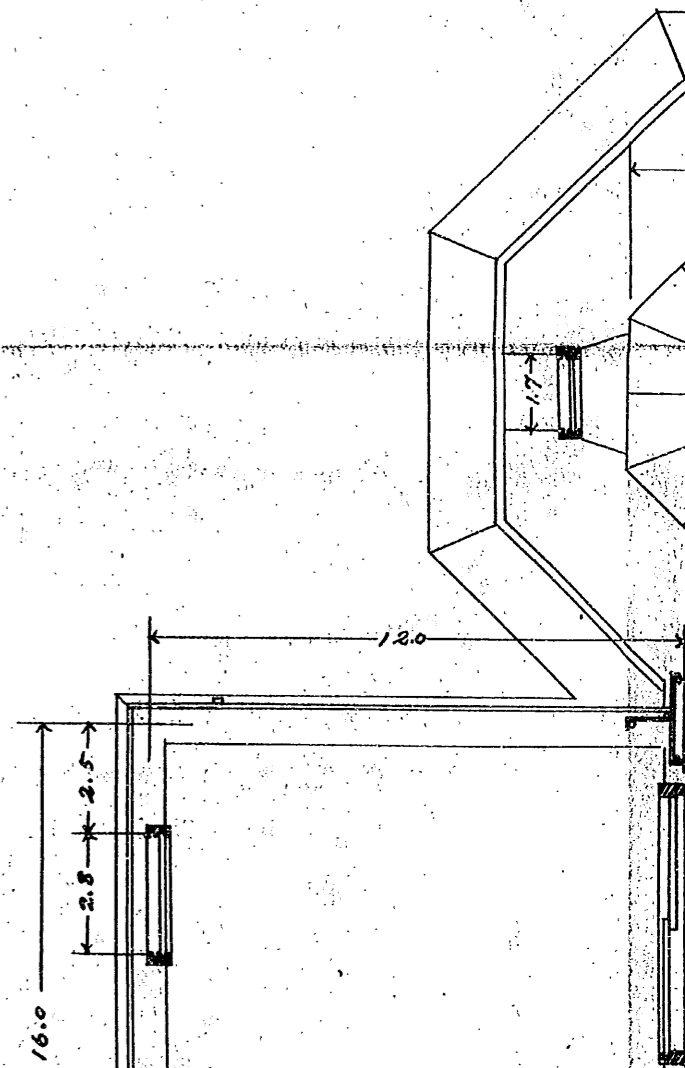
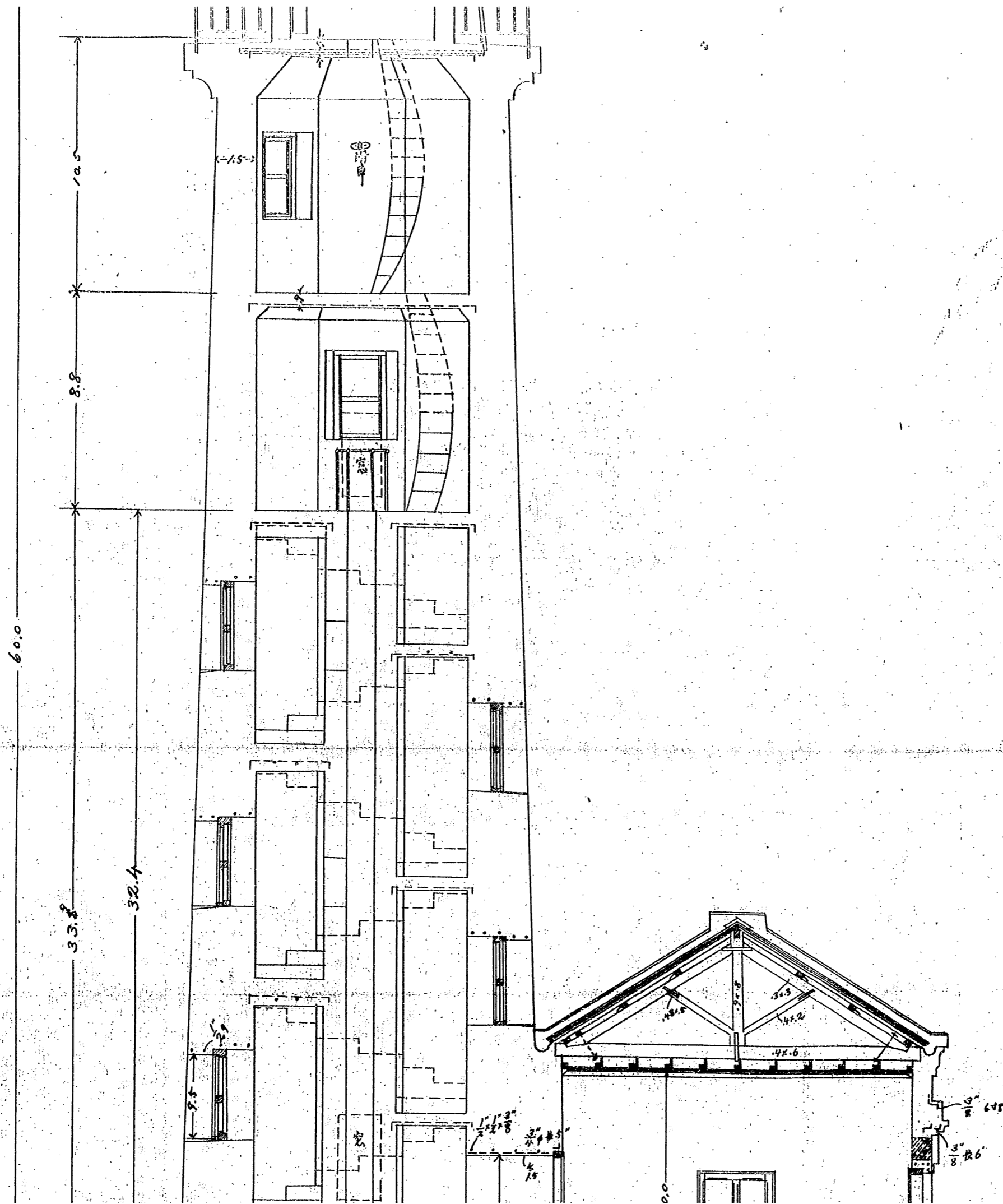


臺灣新設之圖



彈崎燈臺新設之計畫圖

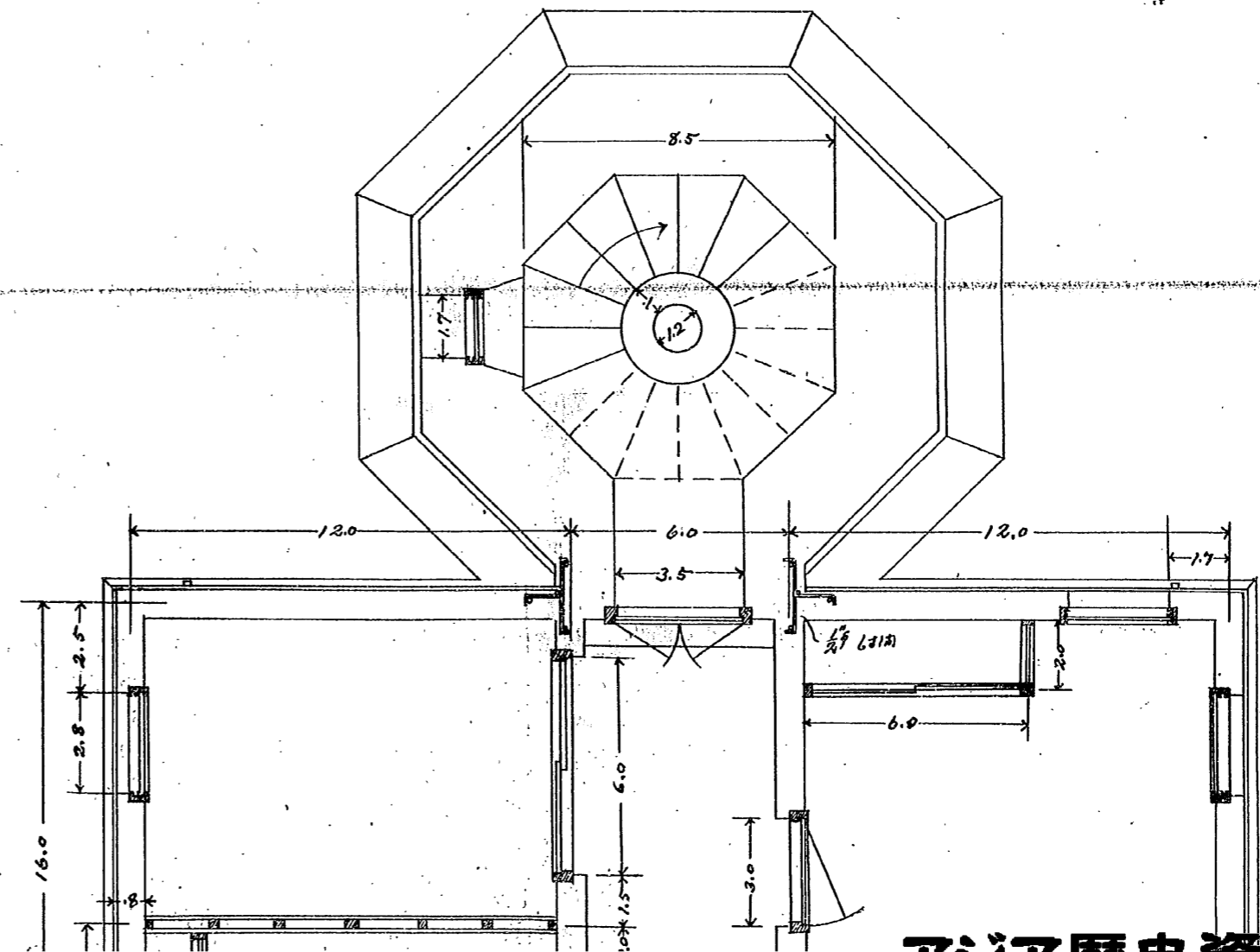
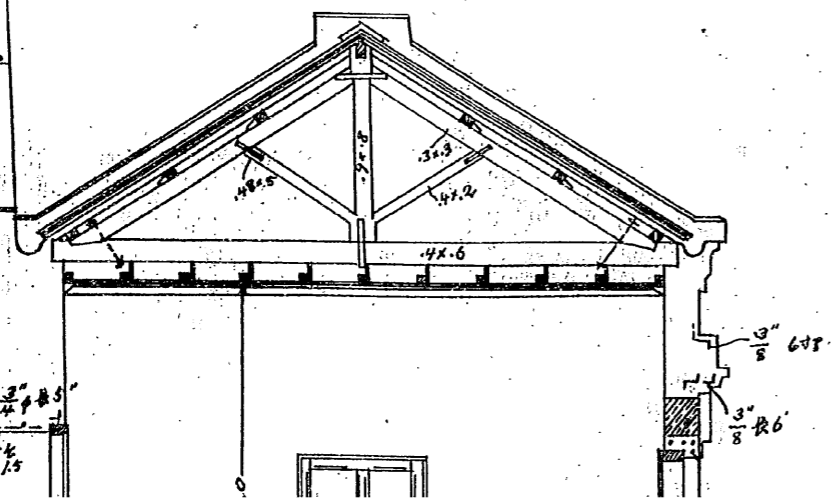
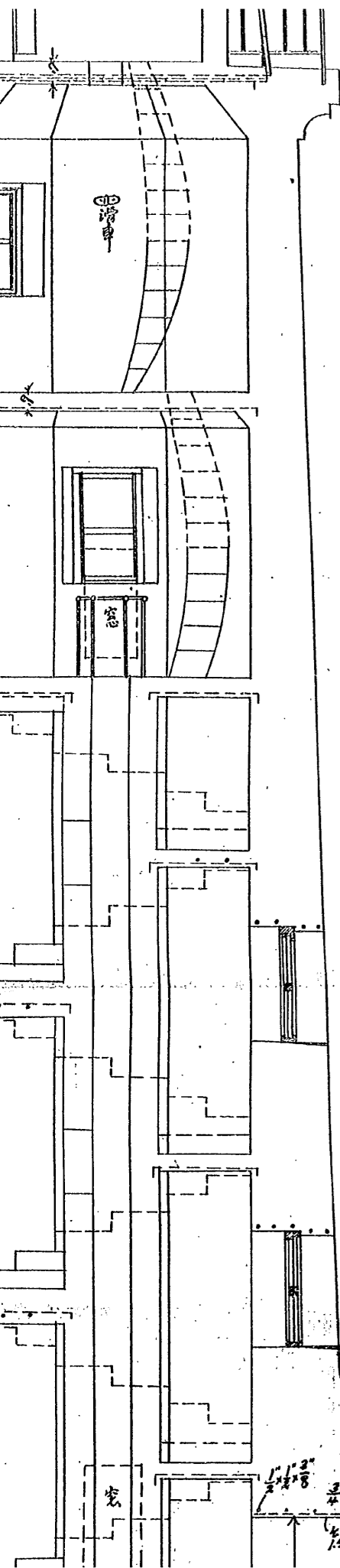
2



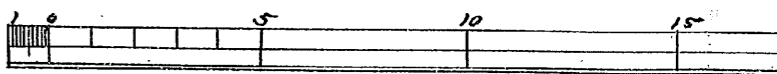
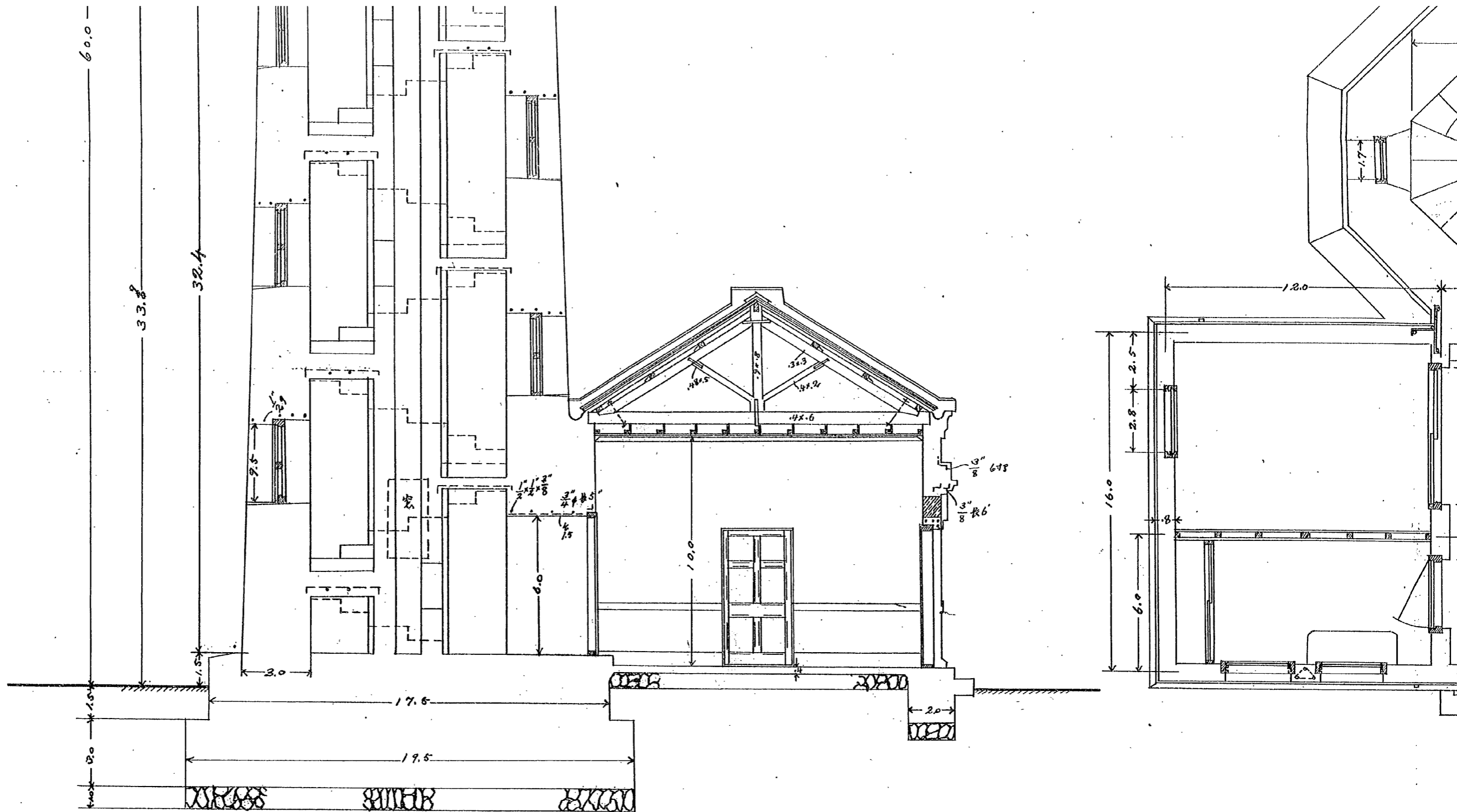
アジア歴史資料センター

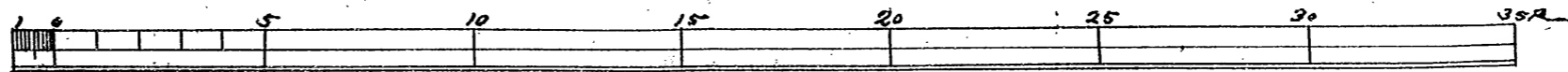
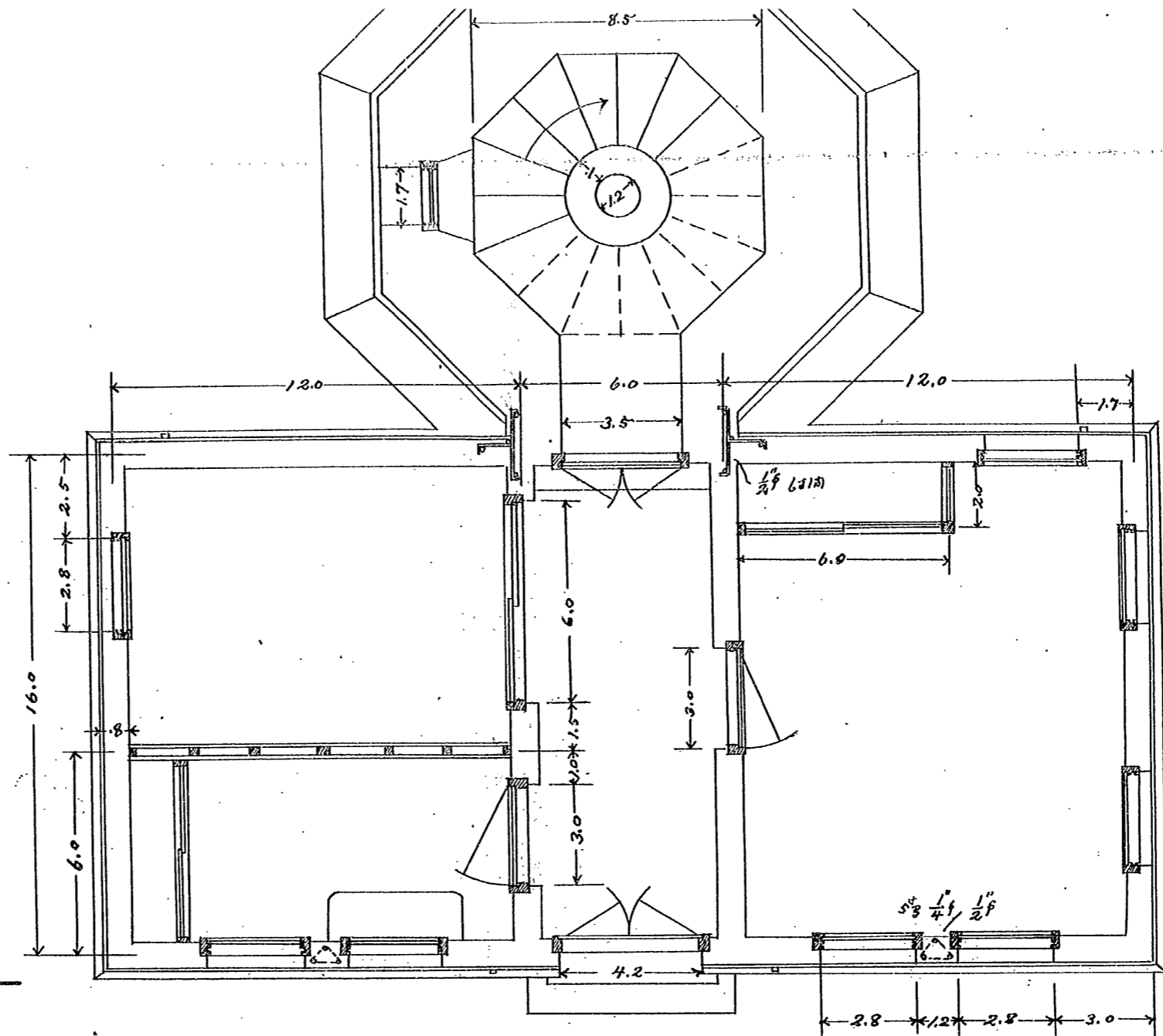
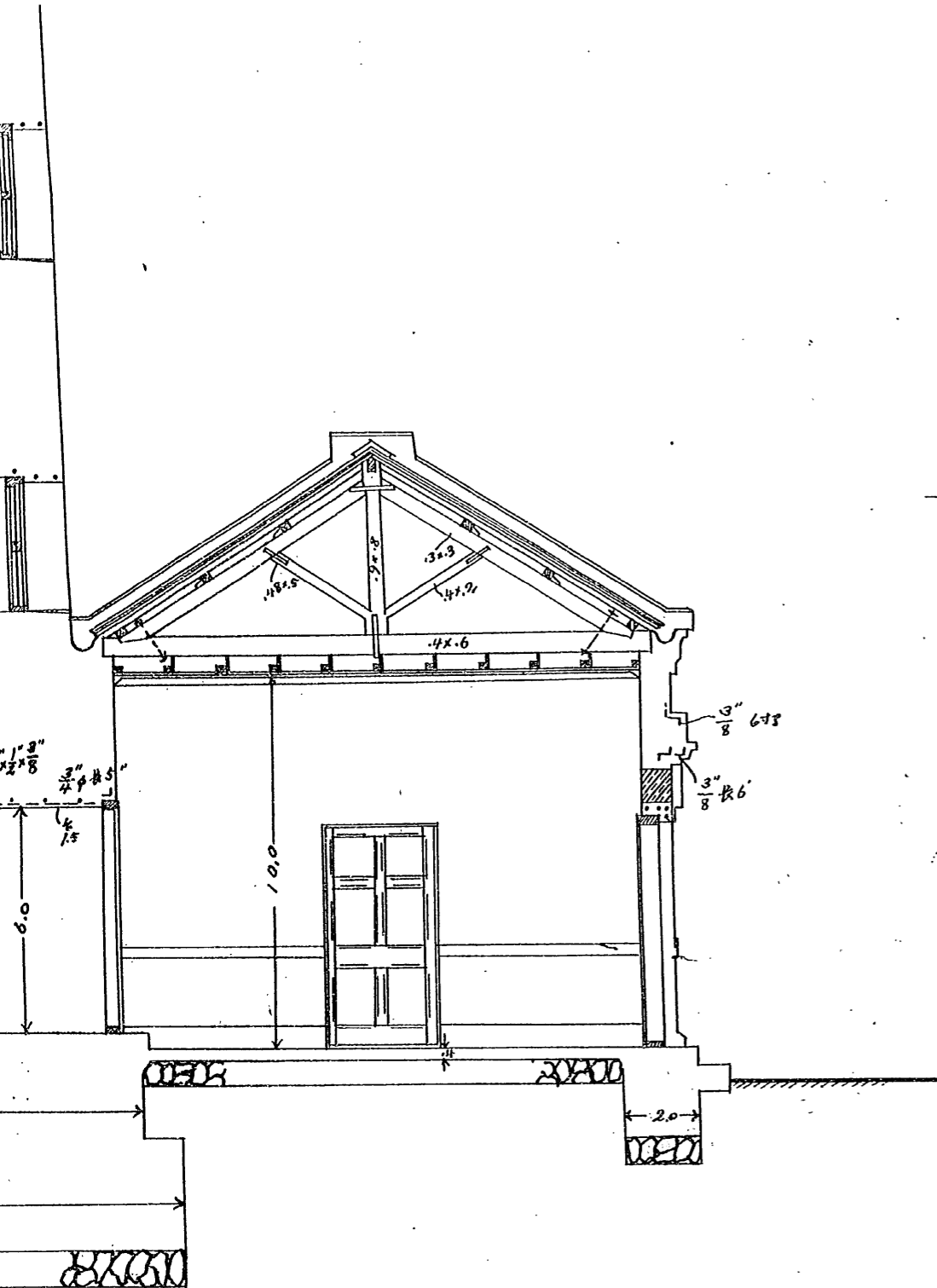
Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp/>



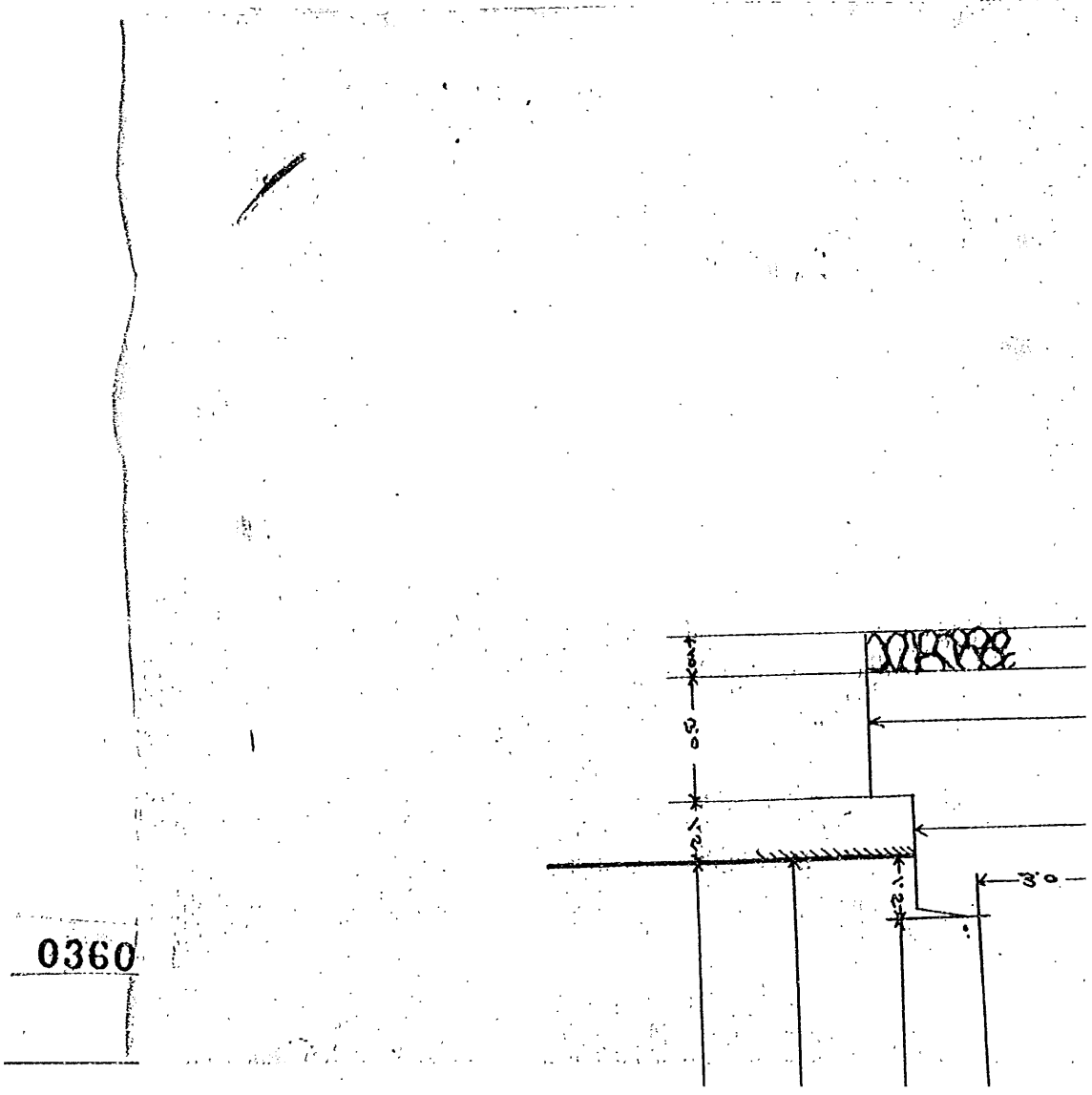
0300





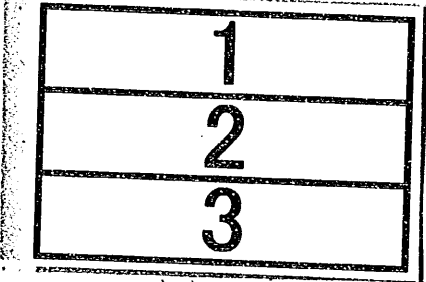
抄  
 写  
 本  
 書





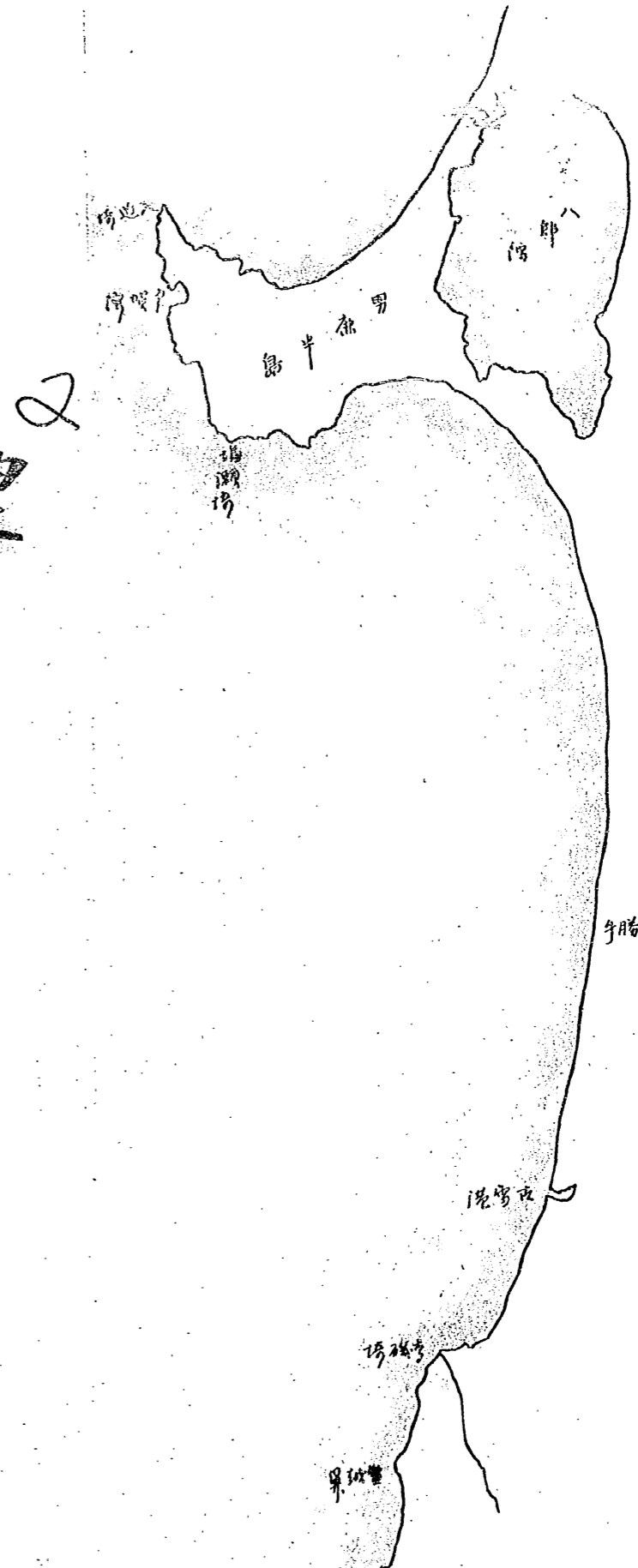
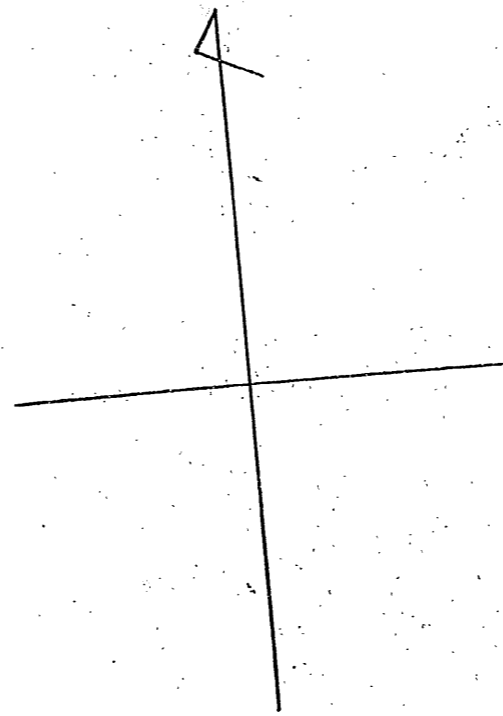
0360

# 分割撮影ターゲット

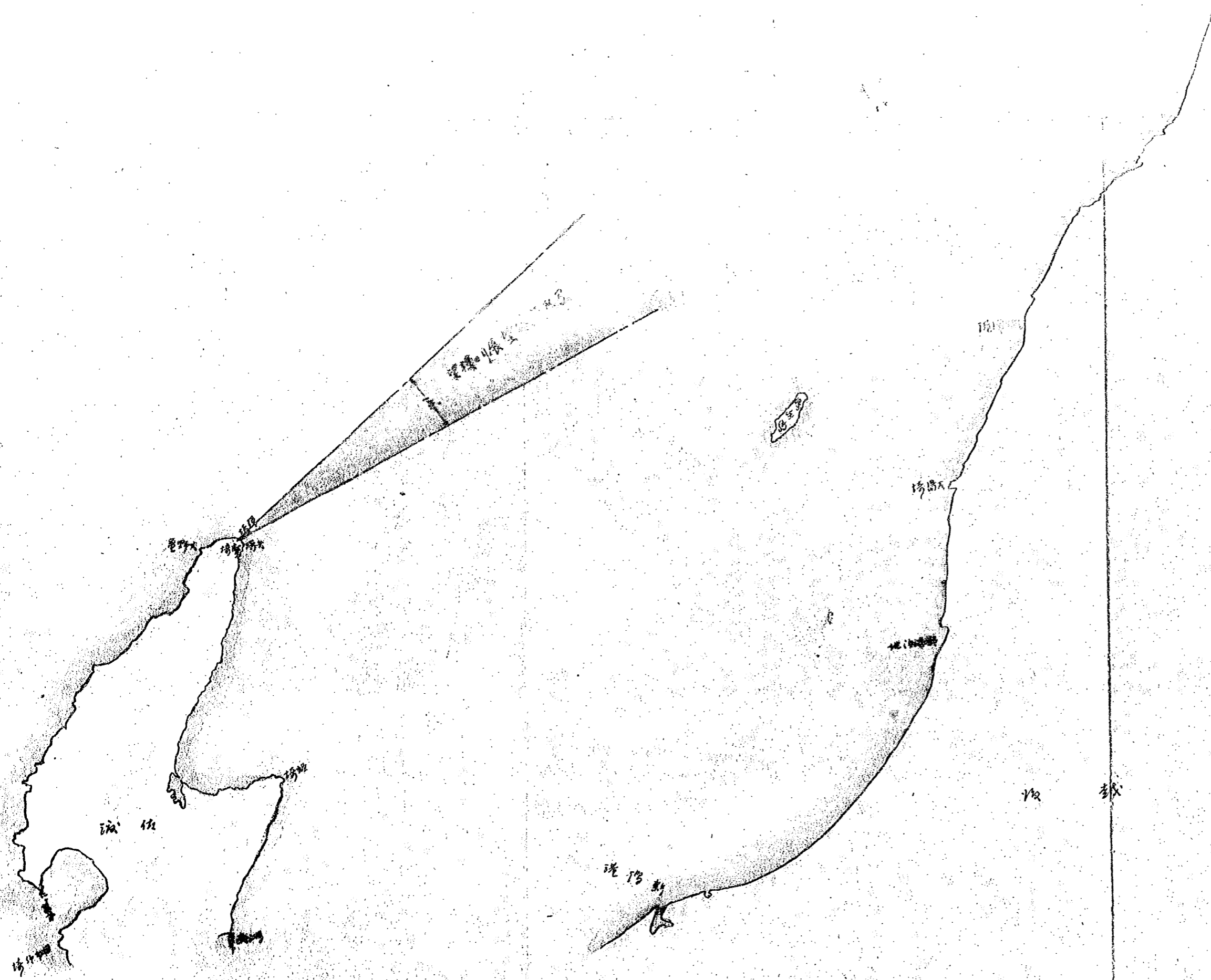
分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0361  
0362  
0363

望樓歸展望蔽區之圖  
丙 (海因宮)







(No. 144)